



グリーンボンド及びソーシャルボンド・ インパクト・レポート

2022年度

IFCとは

世界銀行グループの一員である IFC は、新興市場の民間セクターに特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。IFC は 100 ヶ国以上で業務を行い、資金、専門知識、及び影響力を駆使しながら、途上国において市場と機会を創出しています。2022 年度には、各国が複数の世界的な危機の影響に対処しようとする中、民間セクターの力を活用して極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進するため、途上国の民間企業及び金融機関に対して 328 億ドルという記録的な金額のコミットメントを行いました。

詳細については www.ifc.org をご覧ください。



目次

2	トレジャラーからのごあいさつ
3	グリーンボンド・プログラム—2022年度のハイライト
4	グリーンボンド・プログラム—累積的ハイライト
5	ソーシャルボンド・プログラム—2022年度のハイライト
6	ソーシャルボンド・プログラム—累積的ハイライト
7	2022年度のIFC気候関連ビジネスの概要
8	IFCサステナビリティボンドの概要
10	グリーンファイナンスの成功に続きブルーファイナンスも好評に：プシュカラ・ラタンとのインタビュー
12	エクアドルからフィリピンまで　ブルーボンドを開拓する
13	ガーナ企業にクリーン電力と清潔な水を提供する
14	女性が経営するペルー企業への融資
15	強靱な保健医療システムの開発
16	途上国におけるグリーンボンド市場の創出
17	IFCグリーンボンド適格プロジェクトの地域別コミットメント
18	IFCグリーンボンド適格プロジェクトのセクター別コミットメント
19	2022年度にコミットしたグリーンボンド適格プロジェクト
25	IFCソーシャルボンド適格プロジェクトの地域別コミットメント
26	IFCソーシャルボンド適格プロジェクトのセクター別コミットメント
28	2022年度にコミットしたソーシャルボンド適格プロジェクト
37	付属資料A：IFCグリーンボンド・プログラムのプロセス
40	付属資料B：IFCソーシャルボンドの資金供与の対象となるプロジェクト
42	付属資料C：IFCソーシャルボンド・プログラムのプロセス
45	付属資料D：過年度のソーシャルボンドのコミットメント及び融資実行額の調整
47	作成者及び免責事項

トレジャラーからのごあいさつ

ジョン・ガンドルフォ
IFC 財務担当副総裁兼トレジャラー
財務・動員担当



途 上国は今、前例のない一連の試練を乗り越えようと努力しています。ウクライナでの戦争はパンデミックによる打撃を一段と悪化させ、インフレ率は更に上昇し、食料不安は深刻化しました。また、温室効果ガスの排出量を削減し、各国が気候変動の影響に適応できるよう支援するための早急な対応が求められています。

IFCはこうした中、企業を支援し、雇用機会を拡大し、低炭素社会に移行するための取り組みを強化しました。IFCは、食料安全保障危機に対応し、保健システムを強化し、パリ協定に適合したプロジェクトを実施するための取り組みを強化しています。IFCのグリーンボンド及びソーシャルボンド・プログラムは、こうした取り組みの資金を調達するための重要な手段です。

2022年には、ソーシャルボンドによる保健医療プロジェクトのための資金調達を大幅に拡大しました。ソーシャルボンドによる調達資金は、現地の製造ハブの拡大、手頃な価格の医療用品の供給、及び今後のパンデミックに対する備えに役立てられています。例えば IFC は、フィリピンのマニラ首都圏で初のがん病院を整備するため、1億ドルの投資を行いました。この投資は、フィリピンにおける一次医療機関及び複数の専門科から成る診療所のネットワークの拡大支援にも用いられます。

IFCグリーンボンドによる調達資金は、建物から出る温室効果ガスの削減や、太陽光及び風力発電所、清潔な水、及びリサイクル施設への融資に役立てられています。これらの資金は、ペルーに誕生したばかりのグリーンビルディング金融市場を活性化させ、ガーナの首都アクラ郊外にある製造業者及びその周辺のコミュニティに太陽光発電や清潔な水を提供するガーナの LMI Holdings のような企業を支援することに用いられています。

私は特に、IFC が明確で透明性の高い基準を定め、顧客に助言を提供し、サステナ

ビリティボンドを初めて起債する発行体のアンカー投資家を務めることにより、サステナビリティボンド市場の開拓を支援するために基本的な役割を担ってきたことを誇りに思っています。

IFCによるこうした取り組みの直近の例として、ブルーファイナンス及びブルーボンドの発行を促していることが挙げられます。ブルーファイナンスは水中環境の保護を支援し、持続可能な水経済に投資するための非常に大きな機会をもたらす一方で、ガイドラインが存在しないことなどを理由に、これまでに水及び海洋関連の活動に投じられた資金額は必要な額を下回っています。このギャップに対応するため、IFCは2022年1月にブルーファイナンスのガイドラインを発表しました。これは、ブループロジェクトの適格性、ブルーボンドの発行、及びグリーンボンド原則とグリーンローン原則に沿ったブルーローンに関する助言を提供するものです。またタイの商業銀行による初のブルーボンドの発行を支援したほか、フィリピン最大の銀行が発行する初のブルーボンドについて最大1億ドルの引き受けを行いました。

私たちは現在、グリーンボンドによる調達資金をブルーエコノミー及び生物多様性プロジェクトの資金にも充当できるよう、IFCのグリーンボンド枠組みを拡大しつつあります。また2022年12月にはオスロ国際気候環境研究センター（CICERO）Shades of Greenから第三者評価（セカンドパーティ・オピニオン）を改めて取得し、総合評価で Medium Green、ガバナンス・スコアは「優（excellent）」という評価を維持しました。

サステナビリティボンド市場には、開発課題に対応し、低炭素社会に移行するために必要な数兆ドルもの資金を調達できる、非常に大きな可能性があります。足元ではマクロ経済の逆風によって起債が減少しているものの、引き続き発行体や投資家の関心は高く、依然として長期的に大きく成長する可能性を秘めています。本レポートを通じて、グリーンボンド及びソーシャルボンドによる調達資金から融資を行ったプロジェクトのリストをご紹介します。予想されるインパクトをお伝えできることを嬉しく思います。

グリーンボンド・プログラム 2022年度のハイライト

9セクターの
23件のプロジェクトに
10億ドル超を
コミット*



循環経済



グリーンバンキング



グリーンビルディング



太陽光発電



輸送



廃棄物のリサイクル



廃棄物処理



水の供給



風力発電



期待される削減量

CO₂換算で温室効果ガスを
年間200万トン削減

期待される発電量

再生可能エネルギーにより
5,403,570MWh発電



期待される節減量

年間エネルギー消費量
4,045,000KWh節減



期待される開発量

再生可能エネルギーによる
発電能力を300MW拡大



*IFCは2022年度にはグリーンボンドの発行を行いませんでした。

グリーンボンド・プログラムの 累積的ハイライト

2010年度～2022年度 **20**通貨で
178本の
グリーンボンドを通じて
総額 **105億**ドル
を調達

258件の
プロジェクトに
総額
104億ドル
をコミット

インパクトの概要



期待される削減量

CO₂換算で温室効果ガスを
年間2,560万トン削減



期待される発電量

再生可能エネルギーにより
31,755,857MWhを発電



期待される開発量

再生可能エネルギーによる
発電能力を9,75MW拡大



期待される節減量

年間エネルギー消費量を
868,656,239KWh節減



期待される緑化量

863,685平方メートルの建物に
気候変動対策を導入

ソーシャルボンド・プログラム 2022年度のハイライト

7通貨¹で
10本の
ソーシャルボンド
を通じて
10.5億ドル
を調達²

9セクターの
49件の
プロジェクトに
18億ドル
をコミット



COVID-19対策向けファイナンス



アグリビジネス



マイクロファイナンス



インフラ



ジェンダー・ファイナンス



食糧と飲料



住宅金融



保健



その他金融

期待されるインパクト^{2,3}



5億320万人の患者を支援



175,000の農家を支援



10,000件の住宅ローンを提供



2,922,152件のマイクロファイナンスを提供



中小企業に39,730件の融資を提供



女性が経営する中小企業に148,206件の融資を提供



女性が経営する企業に518,214件のマイクロファイナンスを提供

1 通貨：ブラジル・レアル、カナダ・ドル、チリ・ペソ、日本円、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル及び米ドル

2 2022年度にコミットした IFC ソーシャルボンド適格プロジェクトが今後8年間にもたらすと期待されるインパクト

3 インパクト指標の重複はありません。インパクトは最も該当するカテゴリーに割り当てられており、二重計上はありません。

ソーシャルボンド・プログラムの 累積的ハイライト

2017年度～2022年度

13通貨で⁵
73本の
ソーシャルボンド⁴
を通じて総額
49億ドルを調達

243件の
プロジェクトに総額
76億ドル
をコミット

予想されるインパクトのハイライト⁶

-  2,425,631の農家を支援
-  5億390万人の患者を支援
-  137,441人の学生を学校に通わせる
-  730万人に電力を供給⁶
-  43,114,750人に通信、メディア、テクノロジー・サービスを届ける
-  22,893,314件のマイクロファイナンスを提供
-  802,651件の住宅ローンを提供
-  女性が経営する零細・中小企業向けに7,136,999件の融資を実行

4 これらの数値は2017年度～2022年度における発行額であり、2015年度～2016年度に発行されたインクルーシブ・ビジネス・ボンド2億9,600万ドルと、2014年度～2016年度に発行された女性起業家支援ボンド2億6,800万ドルを含みません。

5 事前評価に基づく総計にはソーシャルボンド適格プロジェクトに対する全コミットメントの目標値が含まれており、漸進的変化または実際のインパクトを表すものではありません。

6 この数値は、電力の接続先及びサービスを提供した顧客の数を含みます（接続先1ヶ所を1つの顧客と計算しています）。

2022年度のIFC気候関連ビジネスの概要

気候変動は現代における中心的な開発課題です。低炭素ソリューションの成長にもかかわらず、世界は今なお、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出削減目標の実現からはほど遠い状況です。事実、国連環境計画（UNEP）の最近の報告書は、産業革命前と比較した世界の気温上昇を1.5度以下に抑えるための信頼できる手段が整っていないことを示しています。

新興市場では、開発ニーズやエネルギー需要の高まりを理由に、経済を急速に変革しない限り、温室効果ガスの排出量が今後10年間で徐々に増加していくことが予想されています。IFCは、これらの国々が再生可能エネルギーから農業及び新技術への融資に至るまで、幅広いセクターの気候に配慮した事業機会を活用できるよう支援する、他にはない立場にあります。

IFCの中核的なミッションは、新興市場の民間セクターの顧客がこれらの機会を活用し、新しい気候経済の中で競争力を保てるよう支援することです。そのためIFCは、ブレンドファイナンスを含めたありとあらゆる投融資及び助言ソリューションをフル活用しています。

2022年度のIFCの気候関連ビジネスから期待されるインパクト



50GW 超の再生可能
エネルギー発電容量の
導入に対する融資



海の健全性を保護するための
ブルーローン及びブルーボンド
9億ドル超



気候変動対策向けのブレンド
ファイナンス1ドルにつき、
商業資金**10ドル**を動員



動員資金と自己勘定を合わせた
気候変動対策向けファイナンス
77億ドル



自己勘定による2005年度～
2022年度の気候変動対策向け
ファイナンス**364億ドル**

IFCの戦略

IFCは、新興市場における気候変動対策ソリューションへの投資を容易にし、現地の気候経済の繁栄のために道を切り開きつつあります。

IFCには、グリーンボンド、ブルーファイナンス及びサステナビリティ・リンク・ボンドを含め、気候変動対策向けファイナンスのイノベーションを開拓してきた素晴らしい実績があります。またIFCはサステナブル投資に関するセクターごとの基準やガイダンスを策定しており、**ブルーファイナンス**及び**生物多様性**に関するガイドラインを発行したことはその一例です。

IFCは新たな投資プラットフォームを設立するとともに、途上国への資金流入を促すため、利益をもたらす現地プロジェクトを創出しています。ブレンド・ファイナンスを活用することで、リスク削減と気候変動に対応する新技術のコスト削減を支援しています。IFCはこれまで、気候変動対策向けのブレンドファイナンス1ドルにつき、スポンサーや他の融資機関から平均約10ドルの商業資金を動員してきました。

現地レベルでは、金融セクターと実体経済セクターの企業に技術支援を提供し、ポートフォリオのグリーン化を支援するとともに、気候変動による影響や、より環境に配慮した経済への移行に伴うリスクから企業を守るためのソリューションを提供します。

IFCサステナビリティボンドの概要

IFCはグリーンボンドとソーシャルボンドという2種類のサステナビリティボンドを発行しています。IFCのグリーンボンドは投資家に対し、気候に配慮したプロジェクトに資金を供与する機会だけでなく、魅力的な投資リターンも提供しています。IFCのソーシャルボンドは投資家にとって、投資リターンを得ながら、同時に社会問題を軽減し、十分なサービスを受けられていない途上国のコミュニティによる基本的なサービスへのアクセスを改善する手段となっています。



Mocuba Solar Panel Photo: 2022 E. Jozine/IFC

IFC グリーンボンド・プログラム

IFCは2013年に、自身初の世界的なベンチマーク規模の米ドル建てグリーンボンドを発行し、当時としては最大のグリーンボンドとして前例を打ち立てました。この起債は、誕生したばかりのグリーンボンド市場に大いに必要とされていた流動性を提供し、グリーンボンドの公募発行の拡大に道を開きました。

それ以来、IFCはグリーンボンド市場のインフラを開発する上で重要な役割を担ってきました。IFCは、世界で最も幅広く受け入れられているグリーンボンドの発行と報告に関するガイドラインであるグリーンボンド原則（GBP）の設立メンバーです。IFCは2020年7月～2022年6月まで、同原則の執行委員長を務めました。

2022年6月30日現在、IFCがこれまでに発行したグリーンボンドは178本、20通貨、総額105億ドル超となっています。

IFCは引き続き、グリーンボンド市場を新たな高みに引き上げるための新たな道筋を構築しています。IFCは、新たに発行したブルーファイナンス及び生物多様性のガイドラインに基づいて[グリーンボンドの枠組み](#)を拡大し、ブルーファイナンス及び生物多様性の要素を盛り込みました。2022年12月にはCICERO Shades of Greenにこの新たな枠組みに関する外部レビューを依頼し、総合評価でCICERO Medium Green、ガバナンス・スコアは「優（excellent）」という評価を得ました。

IFC ソーシャルボンド・プログラム

IFC ソーシャルボンド・プログラムは、2017年にIFCの女性起業家支援プログラムとインクルーシブ・ビジネス・プログラムを統合して設立されました。IFCは新たなソーシャルボンド・プログラムの立ち上げを記念し、世界的なベンチマークとなる米ドル建てソーシャルボンド第1号を発行しました。IFCはそれ以来、ソーシャルボンド市場の開拓において中心的な役割を果たしてきました。IFCは国際資本市場協会(ICMA) ソーシャルボンド作業部会の議長を務め、2017年のソーシャルボンド原則の策定を支援しました。また、[ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み](#)や[持続可能な開発目標\(SDGs\)に向けたハイレベルなマッピング](#)などの重要な資料を共同で起草しました。IFCはさらに、新型コロナ危機が社会と経済に及ぼす影響に対処するため、適格ソーシャル・プロジェクトの[実例ケーススタディ](#)を公開しました。

IFCは2022年度もソーシャルボンド市場で飛躍的な発展を続け、7通貨で10本のソーシャルボンドを発行し、10億5,000万ドルを調達しました。これは2017年のソーシャルボンド・プログラム開始以来、ソーシャルボンドの年間発行額としては2番目に大きい数値です。これにより、IFCがこれまでに発行したソーシャルボンドは2022年6月30日現在で総額490万ドル、73本、13通貨となっています。

2021年10月、IFCは担保付翌日物調達金利(SOFR) 変動利付債(FRN)をソーシャルボンドとして初めて市場で発行し、5億ドルを調達しました。この期間2.5年のソーシャルFRNは変動利付債であり、SOFR指数と連動しています。IFCはこの起債により、Environmental Finance 債券アワード2022の国際機関債部門のソーシャルボンド・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。調達資金は保健プロジェクトに割り当てられました。

その後、カナダ市場で最初のソーシャルボンドを発行し、5億カナダ・ドルを調達しました。満期は2027年1月、表面利率は1.85%となっています。



Photo: Dominic Chavez/World Bank

IFCは年間を通じて6本のソーシャルボンドを私募形式で発行し、ブラジル・レアル、チリ・ペソ、日本円及びメキシコ・ペソを含む様々な通貨で総額1億4,540万ドルを調達しました。さらにIFCは、日本の個人投資家を対象に、売出形式でブラジル・レアル及びメキシコ・ペソ建ての総額780万ドル相当の2本のソーシャルボンドを発行しました。

IFCは、特に融資へのアクセスにおけるジェンダーギャップを解消するためのジェンダー・ファイナンスなどの分野や、今後の健康危機により良く対応できる強靱な保健システムの構築など、保健医療業界において、引き続きソーシャルボンド・プログラムの支援対象となる投融資活動の幅を広げています。

IFCのグリーンボンド及びソーシャルボンド・プログラムは、革新的な債券の発行、市場や通貨の多角化、及び調達資金を持続可能で強靱かつ包括的(インクルーシブ)な経済の構築という新しい用途に振り向けるプロジェクト計画を通じて、環境や社会に配慮した金融商品に対する投資家からの需要の拡大に役立っています。

グリーンファイナンスの成功に続きブルーファイナンスも好評に

プシュカラ・ラタン氏とのインタビュー

IFC 金融機関グループ アジア太平洋地域気候変動対策向けファイナンス責任者



ブルーファイナンスとは何ですか？

ブルーファイナンスとは水や海洋に関係する活動に特化した、気候変動対策向けファイナンスの新しい分野です。ブルーボンドやブルーローンなどの革新的な資金調達手段を活用し、海洋に配慮したプロジェクトや、重要な清潔な水資源の保護などに特化して資金を割り当てます。

ブルーファイナンスに関わる仕事に就いたきっかけは何でしょうか。また、ブルーファイナンスが重要だと思ふ理由とは何ですか？

今日では、30億人以上の人々が食料や仕事、生計手段を海洋に頼っています。ですが気候変動や魚の乱獲、海洋汚染の影響で、海洋や、それに頼って暮らす人々は大きなリスクに晒されています。経済協力開発機構（OECD）の調査から、農業による栄養素汚染を主因として、海洋のいわゆる「デッドゾーン（酸欠海域）」の数と規模が1960年代以降、10年ごとに倍増していることが分かっています。さらに国連教育科学文化機関（UNESCO）の推計によると、2050年には海中のプラスチックの重量が魚を上回るとされています。これらの課題に対処する上で、市場には明らかに足りないものがあります。だからこそ私はIFCで働き、ブルーファイナンスを川上から主流に移したいと考えました。こうした動きがIFCの世界的な取り組みの一部となり、IFCがブルーファイナンスのソート・リーダーシップを担っていることをとても誇らしく思います。

ブルーファイナンスは公共の利益であり、そのため投融資の資金は公的部門から拠出するべきとの声がよく聞かれます。この意見には賛成でしょうか？または、民間セクターにブルーファイナンスの可能性があるとお考えでしょうか？

民間セクターに、ブルーファイナンスに取り組む極めて大きな機会があることは確かです。近年グリーンファイナンスは飛躍的に拡大しており、それに伴ってグリーンファイナンスに対する民間セクターの意欲も大幅に高まっています。同様に、ブルーファイナンスを取り巻く環境も極めて有望です。OECDがパンデミック前に行った推計によると、2030年には世界の海洋関連産業の規模が現在の2倍の3兆ドルとなり、

就業者数は4,000万人に達すると予測されています。そのため発行体や投資家の間では、世界のブループロジェクトに注目する機運が高まっています。私たちが直面している問題を解決し、必要なソリューションを提供するためには官民の協力が必要です。

IFCが資金提供を行っているブループロジェクトはどのようなものですか？またそれらのプロジェクトから予想されるインパクトはどのようなものですか？

私たちは現在、ブルーローンからブルーボンドへの投融資まで、新興市場におけるいくつかのブループロジェクトを支援しています。これらの投融資は、水と衛生へのアクセスを改善し、下水道の普及率を高め、持続可能な水の使用を支援し、海洋プラスチックの量を減らすために用いられます。例えば私たちは、プラスチック樹脂業界で初めて、Indorama Venturesに対する画期的な3億ドルのブルーローンを動員し、アンカー投資家として参加しました。このローンの目的は、2025年までに、海洋汚染の影響を最も強く受けている5ヶ国（ブラジル、インド、インドネシア、フィリピン及びタイ）における同社のポリエチレンテレフタレート（PET）の年間リサイクル能力をペットボトル500億本分にまで引き上げることにあります。

IFCは、最近ブルーファイナンス・ガイドラインを策定及び採択しました。

このガイドラインはブルーファイナンスにどのような影響を及ぼすとお考えでしょうか？

ブルーファイナンスへの関心が高まってきた中で、私たちは、市場にはどのセクターまたはプロジェクトを「ブルー」と見なしてよいのかを判定するガイドラインが不足しているという意見があることに気づきました。IFCは新たに策定したこのガイドラインによって、IFC自身の投融資やブルーボンドの発行、及びブルーローンに関するプロジェクトの適格性基準を定めています。私たちは、この新ガイドラインはブルーファイナンスへの投融資を促すインセンティブとなるだけでなく、海洋への配慮を装っただけの「ブルーウォッシング」を回避し、レピュテーション・リスクから守るための透明性の高いツールにもなると確信しています。



Riverboat, Thailand Photo: Maria Kristina Galang/IFC

エクアドルからフィリピンまで ブルーボンドを開拓する



Lago Agrio, Ecuador Photo: Kiyoshi/Unsplash



Baganga, Davao Oriental, Philippines Photo: Mykel Gran/Unsplash

Banco Internacional エクアドル

IFCはアンカー投資家として、ラテンアメリカ・カリブ海地域の民間セクターが発行した最初のブルーボンド4,000万ドルを引き受けました。エクアドルの Banco Internacionalが発行した7,900万ドルのこの債券は、長期ローンを提供し、持続可能な水産養殖、漁業及び水産物バリューチェーンの管理を含めた持続可能なブルーエコノミーや清潔な水資源の保全に貢献するプロジェクトを支援することに用いられます。また IFCは、銀行によるブルー事業の機会の特定を支援するための助言サービスを提供し、ブルーファイナンス枠組みの策定を支援し、エクアドルの金融規制当局と協力して、同国にブルーボンド市場を創出します。

BDO Unibank, Inc. フィリピン

IFCは、BDO Unibank, Inc.が発行したブルーボンド1億ドルを引き受けました。この資金は、フィリピンのブループロジェクトによる融資へのアクセスを拡大するために用いられます。これはフィリピンで発行されたブルーボンドの第1号です。調達資金は、固形廃棄物管理や、フィリピンの重要な課題である海洋プラスチックなどの問題に対処するために活用されます。また同行はこの資金を元に、水の保全、下水処理、プラスチックのリサイクル、持続可能な観光業、漁業、及び持続可能な水産物加工への支援を拡大することが可能となります。さらに IFCは、ブルーボンドによる調達資金を供与できるプロジェクトの特定に関して BDOを支援するとともに、同行の能力を構築し、これらのプロジェクトがもたらすインパクトをモニタリングします。

IFCのブルーファイナンスのガイドライン

IFCは2022年1月に[ブルーファイナンスのガイドライン](#)を発行しました。

適格ブループロジェクトのカテゴリーをリスト化したこのガイドラインは、IFCがグリーンボンド原則及びグリーンローン原則に従ってブルーエコノミーを支援する投融資を行う際の指針となります。IFCはこのガイドラインによって、ブルーボンドの発行やブルーローンの提供に関する実務的な指針を資本市場に提供するとともに、世界的なブルーファイナンスの拡大を可能にするベストプラクティスを構築しています。

このページに記載されているプロジェクトは、IFCがブルーファイナンスのガイドラインに従ってブルーエコノミーを支援するために行った投融資の例です。IFCは2023年1月にグリーンボンド枠組みを拡大し、グリーンボンドによる調達資金をブルーエコノミー及び生物多様性に関するプロジェクトにも割り当てられるようにしています。

ガーナ企業にクリーン電力と清潔な水を提供する

2022年7月、IFCとガーナに本社を置くLMI Holdingsは、クリーンエネルギーによる発電と製造業者への水の供給を支援する3,000万ドルの契約を締結しました。

テマ湾からわずか45分の場所にあるダワ工業地区は、成長過程にあるアフリカの工業セクターにサービスを提供する第一級の製造・物流ハブの1つになると期待されています。ガーナの民間複合企業であるLMI Holdingsが主導するこのプロジェクトは、今後数年間で100以上の企業を誘致し、15,000人を雇用すると推計されています。

しかし、現行の水道・電力事業者にはそれほど大規模なプロジェクトに水やエネルギーへのアクセスを保証する余裕はなく、プロジェクト全体が頓挫するおそれがあります。

LMI Holdingsは、水を適切に処理して工業地区に送る独自の水処理施設を建設してこの問題を回避すべく、IFCと3,000万ドルの融資契約を結びました。またこの融資は、わずか数分の場所にあるLMIの別のプロジェクトであるテマ自由貿易地区に環境に配慮した電力を供給するため、16.8MWの屋上ソーラーパネルを設置する資金にも充当されます。

新しい水処理施設は1日4,000m³の水を処理する予定ですが、将来的には処理能力を11,000m³/日まで拡大し、ダワ工業地区だけでなく、いずれはダワの新都市にも水を供給し、同地域の企業と住民のために持続可能な未来を創造することに貢献する可能性があります。

「(LMIには) 管理サービスと水や電力を供給し、経常収益をあげてきた優れた実績があります」と、IFCのガーナ担当上級カンントリー・マネージャーであるカイル・ケルホーファーは語ります。「IFCにとって、LMIの開発計画を支援することは願っていませんでした。」

環境に配慮した持続可能な方法でガーナの工業と付加価値製品の輸出を強化し、雇用を創出することにつながるからです。」



Signing ceremony Photo: IFC



Tema Free Zone enclave Photo: LMI

女性が経営するペルー企業への融資



Photo: Martin Spahr/IFC

ペルーでは、与信履歴が限定的であることや、担保がないこと、及び金融リテラシーの低さが、女性や女性が経営する企業が商業銀行から融資を受ける上での障害となってきました。グローバル・アントレプレナーシップ・モニター (Global Entrepreneurship Monitor) の2018～2019年の女性起業家報告書 (Women's Entrepreneurship Report) によれば、ペルーの女性事業者のうち、融資にアクセスできないことを理由に廃業した人は12%にのぼります。COVID-19のパンデミックによって、このジェンダーギャップは更に拡大しました。

IFCが Mibanco, Banco de la Microempresa S. A. に提供した1億ドルの融資は、特に農村地域や十分にサービスを受けられていない地域において、女性が経営する零細・中小企業の、融資及びより質の高い金融商品へのアクセスを拡大することに用いられます。Mibancoは零細起業家や小規模企業へのサービス提供に重点を置くペルーの大手マイクロファイナンス機関兼中小企業向け融資機関であり、2021年12月現在の零細・中小企業向け融資ポートフォリオ残高は31億ドル、地域の借り手は785,000以上にのぼります。

「パンデミック後の経済が直面する課題を考慮すると、IFCから提供される長期資金は、当社が女性が経営する公式・非公式の零細・中小企業を支援するための資金調達基盤を多様化することに役立つでしょう。私たちはこれにより、女性が経営する個別の企業、特に首都リマ以外にある企業や、零細企業より大きな資金ニーズを抱えた企業、すなわち中小企業に対する融資が実行可能であることを示せると考えています。

私たちはIFCの支援を受けて、引き続き、ペルーにおける融資へのアクセスギャップを安定的に、断固として削減していきたいと考えています。」と、Mibancoの最高財務責任者(CFO)であるカルロス・ソテロは語っています。

Mibancoは既にジェンダーギャップの縮小に取り組んできました。その一例である、5年前に開発されたCrédito Mujerという金融商品は、与信履歴の有無にかかわらず、新興ビジネスを行っている女性の零細起業家または被扶養者を対象としています。この商品はこれまでに140,000人の零細起業家を支援しており、うち44,000人にとってはこれが初めてアクセスした金融商品でした。

IFCの女性起業家支援事業に基づくこのプロジェクトは、女性起業家機会改善ファシリティ (WEOF) 及び女性起業家資金イニシアティブ (We-Fi) から業績連動型インセンティブ付きの支援を受ける予定です。

IFCの女性起業家支援イニシアティブは2010年の発足以来、金融機関パートナーを通じて女性が経営する中小企業に資金やビジネスに関するソリューションを提供し、66ヶ国で204件の投融資及び助言サービス・プロジェクトを実施してきました。WEOFはIFCがゴールドマン・サックス財団と共同で立ち上げたイニシアティブであり、途上国の女性起業家による資金へのアクセスを拡大し、女性に対する投融資が商業的に実行可能であることを示すことを目的としています。

強靱な保健医療システムの開発

COVID-19のパンデミックにより、保健システムや、アクセスしやすく質の高い保健医療に対する差し迫ったニーズに世界の注目が集まりました。手頃な価格の医療用品や医療サービスの提供を支援するため、IFCはソーシャルボンドによる保健医療プロジェクトのための資金調達を大幅に拡大しました。これらのプロジェクトは、パンデミックによって最も深刻な打撃を被った国々に命綱を提供し、より強靱な保健医療システムの基礎を構築するために2020年に創設された40億ドルのプラットフォームの一部を成しています。

Ayala Corporation フィリピン

がんはフィリピンで3番目に多い死因であり、患者の約半数は、治療後の患者の生存率があまり高くない進行した段階でがんと診断されています。IFCは、新しいがん病院を整備し、一次医療ネットワークや複数の専門科から成る診療所を拡大し、デジタル技術イニシアティブを加速させるための Ayala Healthcare Holdings, Inc. による資金の借り換えを支援するため、Ayala Corporationの海外子会社である AYC Finance Limitedが発行したソーシャルボンドに1億ドルを投資しました。フィリピンの保健医療セクターが発行したのものとしては第1号となるこのソーシャルボンドは、ソーシャルボンド原則に従い、IFCの支援を受けて開発されました。

Laboratorios Siegfried

コロンビア及びパナマ

中米、コロンビア、エクアドル及びペルーでの、高品質で手頃な価格の保健医療製品へのアクセスを拡大するため、ラテンアメリカ最大の製薬会社の1つである Grupo Roemmersの子会社 Laboratorios Siegfried に対して3,000万ドルの融資を行いました。同地域はCOVID-19によって最も打撃を受けた地域の1つであり、特に医薬品の不足や医薬品サプライチェーンの混乱は深刻な影響を及ぼしました。IFCの投融資は、同地域において、高度に専門的な低価格の医薬品や保健医療用品の生産規模を拡大し、新たな雇用を創出し、保健医療サービスを強化することに役立てられます。

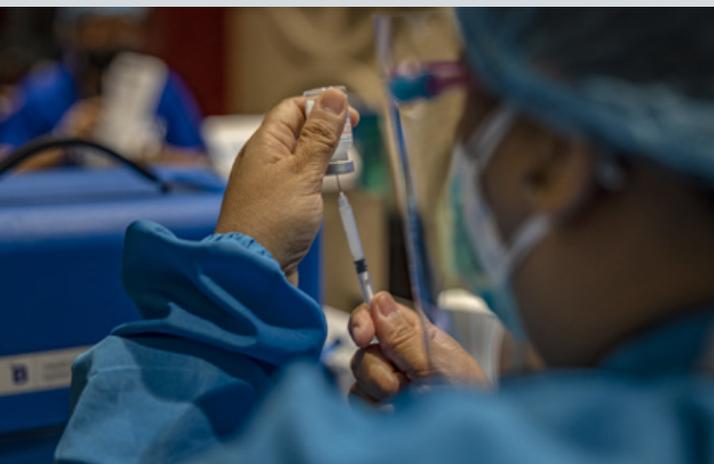


Photo: Ezra Acayan/World Bank

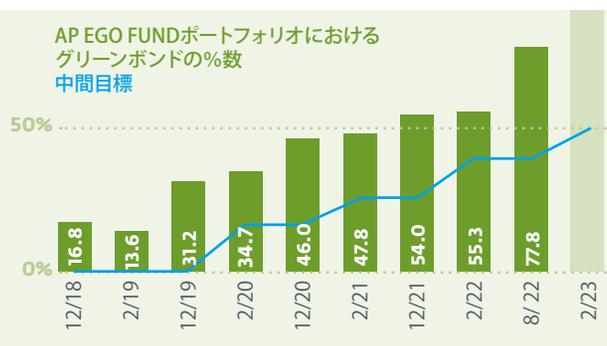


Photo: Ayala

途上国におけるグリーンボンド市場の創出

Amundi Planet Emerging Green One Fundについて

IFCとAmundiは2018年、新興市場におけるグリーンボンド需要の喚起を目的として、Amundi Planet Emerging Green One Fund (AP EGO) を設立しました。2022年8月現在のAP EGOの運用資産額14億ドルのうち、77.8%がグリーンボンドとなっており、2023年2月までに50%とする中間目標を大きく上回っています。



グリーンボンド・技術支援プログラム

IFCは、途上国にグリーンボンド市場を創出するため、2018年にグリーンボンド・技術支援プログラム (GB-TAP) を立ち上げました。GB-TAPは、新興市場の銀行に研修を実施し、基準を定め、ベストプラクティスを業界に広めることにより、新興市場におけるグリーンボンドの供給を量・質の両面で強化する一連の活動やイニシアティブを提供しています。

報告を強化するためのグリーンボンド発行体への働きかけ

AP EGOは最近、グリーンボンド発行体によるインパクト・レポートの改善を支援するため、より積極的な働きかけを開始しました。AP EGOは、この働きかけを通じて発行体にフィードバックを提供するとともに、気候変動へのインパクトの開示に関する投資家の期待を発行体に伝える計画です。

GB-TAPは、IFCとESGデータ会社であるArabesqueのパートナーシップを通じて、新興市場の債券発行体によるESGデータの開示を推進しています。Arabesqueは2021年12月、企業の持続可能性に関するアクセス可能なデジタル情報を一元的にまとめた情報源であるプラットフォーム「ESGブック」を立ち上げました。情報開示が改善されれば新興市場のESGリスクの理解や管理がしやすくなり、発行体や投資家により良い開発成果をもたらすでしょう。

AP EGO及びGB-TAPの立ち上げ以来、ベストプラクティスや新興市場のグリーンボンド、ソーシャルボンド及びサステナビリティボンドに関する市場の知識を広げるために20以上のレポートが発表されました。これには、新興市場グリーンボンド年次レポート (Annual Emerging Market Green Bonds Report)、AP EGOインパクト・レポート (AP EGO Impact Report)、及びグリーンボンド・ファンドのインパクト報告実務 (Green Bond Funds Impact Reporting Practice) が含まれます。⁷

研修を通じた新興市場におけるグリーンボンドの発行の促進

GB-TAPは2018年～2022年6月までの間に、50ヶ国以上の176の金融機関に勤務する721人の参加者を対象に幹部向け研修を実施しました。この研修は、グリーンボンド、ソーシャルボンド及びサステナビリティボンド合計45本、総額32億ドルの発行に貢献しました。このうち28億ドル相当の18本の債券は、プログラム受講者の銀行が直接発行したものです。これらの債券の多くはそれぞれの国で初めて発行されるサステナビリティボンドであり、AP EGOはそのうち6本に投資を行いました。



幹部向けGB-TAP研修の参加者(エジプト、2022年6月)

⁷ <https://www.environmental-finance.com/content/focus/creating-green-bond-markets/>をご覧ください。

IFCグリーンボンド適格プロジェクトの 地域別コミットメント

(百万米ドル)

2022年6月30日現在、IFCグリーンボンドの調達資金を充当したグリーンボンド適格プロジェクトは257件です。これらのプロジェクトへのコミットメント総額は104億ドルで、そのうち90億ドルが既に融資実行されました。

ラテンアメリカ・カリブ海

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	618	422	90	534	406	252	330	101	249
融資実行額	156	551	210	449	357	208	171	146	301

欧州・中央アジア

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	178	370	284	320	834	121	119	109	197
融資実行額	66	228	265	312	833	183	255	49	220

中東・北アフリカ

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	55	59	119	137	265	45	108	100	69
融資実行額	9	34	86	184	75	148	62	79	213

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	Total
コミットメント	936	1,133	961	1,555	2,205	885	695	1,040	1,035	10,445
融資実行額	242	956	754	1,356	1,914	1,135	642	666	1,322	8,987

南アジア

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	62	239	200	299	297	122	84	14	60
融資実行額	11	125	154	194	200	248	75	10	39

東アジア・大洋州

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	-	229	204	340	325	38	366	313
融資実行額	-	-	18	179	427	306	47	198	323

サブサハラ・アフリカ

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	23	43	39	36	63	20	17	350	120
融資実行額	-	19	21	22	14	42	32	183	199

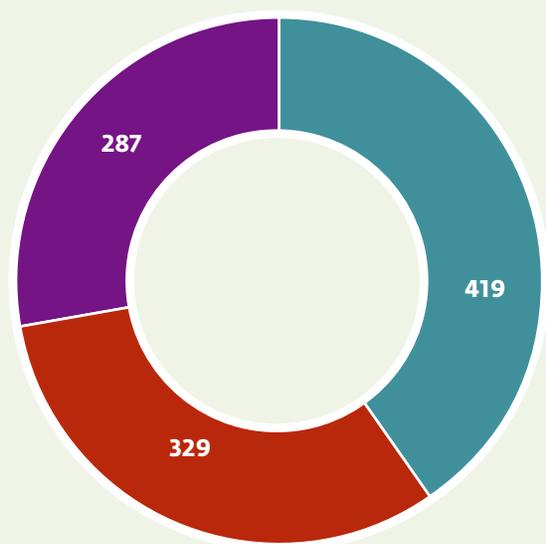
他地域

(年度)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	-	-	24	-	-	-	-	27
融資実行額	-	-	-	17	7	-	-	-	27

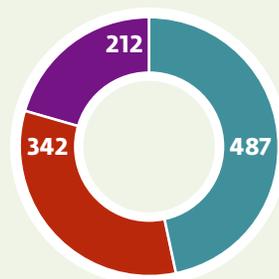
IFCグリーンボンド適格プロジェクトの セクター別コミットメント

(百万米ドル)

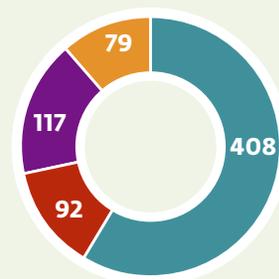
再生可能エネルギー
エネルギー効率化
その他緩和策
適応策



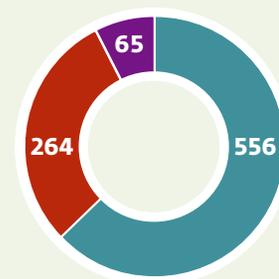
2022年度
合計1,035



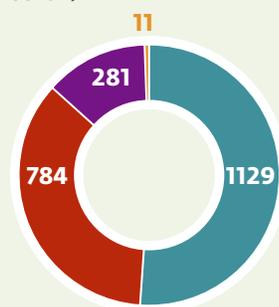
2021年度
合計1,040



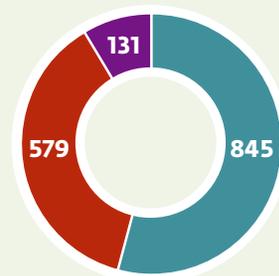
2020年度
合計695



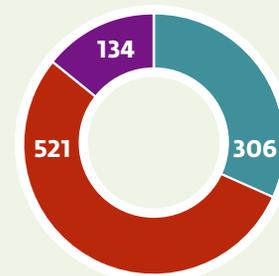
2019年度
合計885



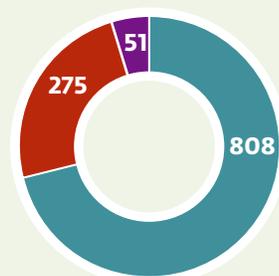
2018年度
合計2,205



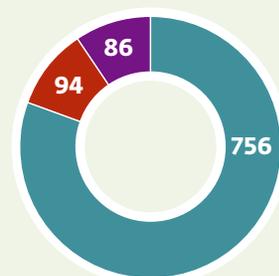
2017年度
合計1,555



2016年度
合計961



2015年度
合計1,134



2014年度
合計936

2022年度にコミットしたグリーンボンド適格プロジェクト

以下のインパクト・アセスメント表は、IFCグリーンボンドによる調達資金の中から部分的または全面的な資金供与対象となるプロジェクトによって期待される気候への効果を示すものです。表には2022年度にコミットしたプロジェクトのみを記載しています。プロジェクトはセクター別に整理されており、プロジェクトの種類ごとに再生可能エネルギー（RE）、エネルギー効率化（EE）、RE及びEEのいずれにも該当しない気候変動緩和プロジェクト（その他緩和策）、及び適応策に分類されています。適応策とは、適応能力とレジリエンスを維持または向上させることにより、気候変動及びそれに関連するリスクに対する人間または自然系の脆弱性を軽減することを指します。



注記:

1. 本報告は、プロジェクトの影響評価時における事前評価に基づいています。インパクト・アセスメント表の数値には、建設中または実施途中にあるプロジェクトの効果の推計値が含まれており、これらの効果が最終的に実現する保証はありません。そのため、この報告は、特定の年度または報告期間において達成された実際の効果を報告するものではありません。
2. 二重集計を回避するため、過年度にコミットメントを行い、2022年度に追加の資金供与を受けたプロジェクトについては、インパクトの推計値を記載していません。
3. 関連指標に関する情報が不十分なプロジェクトは、インパクトの推計値を「N/A」と記載しています。

グリーンボンド 気候変動対策分野	種類 *EE(エネルギー 効率化)RE(再生 可能エネルギー) その他緩和策	プロジェ クトID	プロジェクト名	国または地域	概要	融資契約額 百万米ドル	年間発電量 MWh	年間エネルギー 節減量 kWh	再生可能エネル ギープラント (建設または改 修)設備容量 MW	年間温室効果 ガス削減量 (推定) CO ₂ 排出量 (t)	持続可能な開発 目標
太陽光発電/ 水の供給	RE/その他 緩和策	4340Z	LMI	ガーナ	IFCの融資は、ガーナ・ダワでの屋上太陽光発電設備(ピーク発電容量16.8MW)及び水処理施設の第一段階の建設支援に充てられる。	30	25,767	N/A	N/A	10,836	7 13
太陽光発電/ 水のリサイクル	RE/その他 緩和策	43869	Dolidol	モロッコ	IFCの融資は、Dolidolの既存施設におけるソーラーパネルの設置及びモロッコでのDolicenによるグリーンフィールドにおけるプラスチックのリサイクル事業の設立支援に充てられる。同事業では、リサイクルされたポリエチレンボトルから再生ポリエチレン、ポリエチレンフレック、ポリエステルステーブルファイバー、及び不織布ジオテキスタイルを製造する。	2.64	N/A	N/A	N/A	23,840	7 12 13
風力発電、太陽 光発電及びエ ネルギー効率 化プロジェクト	RE	4402Z	Celsia WC	コロン ビア	IFCの融資は、2つの風力発電所及び太陽光発電プロジェクトの開発、並びにその他の送配電効率改善プロジェクトを支援することにより、Celsia Colombiaの再生可能エネルギー資産の拡大を支援し、コロンビア電力セクターのカーボン・フットプリントの改善に貢献するために用いられる。	140	1,362,000	N/A	N/A	530,271	7 13
太陽光発電	RE	44816	EGP India - Thar	インド	IFCの融資は、インドのラジャスタン州ピカネール地域にある300MWの太陽光発電プロジェクトの建設・運営・保守の支援に充当される。	50	757,728	N/A	300	650,921	7 13
太陽光発電	RE	4594Z	VNGH	ベトナム	IFCの融資は、ピーク発電容量40MWのMui Ne太陽光発電プロジェクトや、同33.1MWのVSP II太陽光発電プロジェクト、及びベトナムにおける他の再生可能エネルギー・プロジェクトの取得資金に充てられる。 同社の戦略は、稼働中の風力・太陽光発電プロジェクトの取得やグリーンフィールドの再生可能エネルギー・プロジェクトの開発を通じて、2024年までにベトナム国内における再生可能エネルギーによる発電能力を300MW以上保有することである。	45	3,117,000	N/A	N/A	220,155	7 13

グリーンボンド 気候変動対策分野	種類 *EE(エネルギー 効率化)RE(再生 可能エネルギー) その他緩和策	プロジェ クトID	プロジェクト名	国または地域	概要	融資契約額 百万米ドル	年間発電量 MWh	年間エネルギー 節減量 kWh	再生可能エネル ギープラント (建設または改 修)設備容量 MW	年間温室効果 ガス削減量 (推定) CO ₂ 排出量 (t)	持続可能な開発 目標
太陽光発電	RE	42750	Kampong Solar	カンボジア	IFCの融資は、カンボジア政府が計画している100MWのソーラーパークの第一段階の開発支援に充てられる。このプロジェクトは拡大するエネルギー需要への対応を支援するものであり、CO ₂ 排出量を年間96,697トン削減することで、環境にプラスの影響を与えることが期待される。またこのプロジェクトは、カンボジア初の大規模太陽光発電案件の入札を支援し、実用規模の太陽光発電プロジェクトが同国の発電ミックスに果たす役割を実証することにより、市場の競争力とレジリエンスを高めると期待されている。	4	141,000	N/A	N/A	96,697	7 2030年以降の気候変動に 対応するための目標 8 質的成長 13 気候変動に 関係した目標
EE及び 太陽光発電	EE/RE	40767	El Sewedy Loan I	エジプト、 アラブ 共和国	IFCの融資は、El Sewedyによる、アフリカ大陸及びその他諸国での新たな独立系太陽光発電事業者の育成を支援することに充てられる。IFCの融資は、エジプトを中心とする同社の発電施設の設備投資、近代化、及び資源効率の改善を継続するとともに、エジプト、インドネシア、パキスタン、タンザニアでの新製造工場の取得・建設費用に充てられる。	44.37	75	11,000	N/A	64,941	7 2030年以降の気候変動に 対応するための目標 8 質的成長 13 気候変動に 関係した目標
風力発電	RE	46441	La Genoveva Pru	アルゼン チン	IFCの融資は、当初2019年度にコミットした風力発電プロジェクトへの追加の資金供与に用いられる。この風力発電所プロジェクトは88.20MWのクリーンエネルギーをもたらす予定である。	10.37	N/A	N/A	N/A	N/A	7 2030年以降の気候変動に 対応するための目標 13 気候変動に 関係した目標
風力発電	RE	46440	Lekela Wind-Pru.	エジプト、 アラブ 共和国	IFCの融資は、当初2020年度にコミットした風力発電プロジェクトへの追加の資金供与に用いられる。この風力発電所プロジェクトは、エジプト市場に250MWのクリーンエネルギーをもたらす予定である。	22.24	N/A	N/A	N/A	N/A	7 2030年以降の気候変動に 対応するための目標 13 気候変動に 関係した目標

グリーンボンド 気候変動対策分野	種類 *EE(エネルギー 効率化)RE(再生 可能エネルギー) その他緩和策	プロジェ クトID	プロジェクト名	国または地域	概要	融資契約額 百万米ドル	年間発電量 MWh	年間エネルギー 節減量 kWh	再生可能エネル ギープラント (建設または改 修)設備容量 MW	年間温室効果 ガス削減量 (推定) CO ₂ 排出量 (t)	持続可能な開発 目標
循環経済	その他 緩和策	45010	CNGR Loan	中国	IFCの融資は、耐用年数が経過したバッテリー及びスクラップ素材のリサイクル施設の建設支援に充てられる。このプロジェクトでは、同社のリサイクル能力を更に強化し、未使用原料をリサイクル素材に置き換えることでコスト効率を改善する。	150	N/A	N/A	N/A	N/A	8 働きがいも 経済成長も 12 つくまなび つくりかた
廃棄物管理	その他 緩和策	41954	Averda Corporate	中東地域	IFCの融資は、オマーン・マスカット近郊における資源回収施設及びプラスチックのリサイクル施設、南アフリカにおける機械用樹脂のリサイクル施設、モロッコのカサブランカにおける機械用樹脂リサイクル施設などの複数のプロジェクトの開発・建設費用に充当される。	26.7	N/A	N/A	N/A	N/A	8 働きがいも 経済成長も 12 つくまなび つくりかた
グリーン バンキング	EE / RE	45897	Garanti BBVA Consumer Finance	ルーマニア	IFCの融資は、新しいグリーンローン・ポートフォリオの規模拡大を支援し、グリーン住宅への改修、太陽光発電パネル、電気自動車及びハイブリッド自動車、電動自転車及び電動スクーター、家庭用電化製品、家庭用地熱暖房機器、家庭用断熱素材及び技術を含む適格資産の購入資金を個人に提供することに充てられる。	10.54	N/A	N/A	N/A	7,333	8 働きがいも 経済成長も 11 社会課題を 解決していく 13 気候変動に 貢献的な投資
グリーン バンキング	RE	42040	HDBank GreenLoan	ベトナム	IFCの融資は、HDBankの気候変動対策向けファイナンス・ポートフォリオの拡大を支援し、比較的新しい事業セグメントである太陽光発電所及び屋上太陽光発電プロジェクトに資金を供与するために用いられる。	70	N/A	N/A	N/A	54,723	7 社会課題を 解決していく 13 気候変動に 貢献的な投資
グリーン バンキング	その他 緩和策	44606	BBVA Peru Green	ペルー	IFCの融資は、グリーンビルディング金融市場の開拓と強化に向けたペルーの取り組みを支援し、国際的なベストプラクティスに従ってグリーンビルディング融資を組成するBBVA Peru Greenの能力を強化することにより、建物が気候変動に及ぼす影響を緩和するために用いられる。	60	N/A	N/A	N/A	649	11 社会課題を 解決していく 13 気候変動に 貢献的な投資

グリーンボンド 気候変動対策分野	種類 *EE(エネルギー 効率化)RE(再生 可能エネルギー) その他緩和策	プロジェ クトID	プロジェクト名	国または地域	概要	融資契約額 百万米ドル	年間発電量 MWh	年間エネルギー 節減量 kWh	再生可能エネル ギープラント (建設または改 修)設備容量 MW	年間温室効果 ガス削減量 (推定) CO ₂ 排出量 (t)	持続可能な開発 目標
輸送	その他 緩和策	40065	Lagos City Infra	ナイジェ リア	IFCの融資は、ナイジェリア・ラゴスにおける 質の高い2本のバス専用車線の整備支援に 充てられ、公共交通へのアクセス拡大と、車 両からの温室効果ガス排出量削減を後押し する。これにより、1日150,000人以上の乗客 を輸送し、通勤・通学時間を短縮できるとみ られる。	50	N/A	N/A	N/A	5,297	11 気候変動 13 気候変動に 関係した資源
グリーン ビルディング	EE	45432	AlleyRoads	南アフリカ	IFCの融資は、今後3年間にわたって、ヨハネ スブルグ地域にある3つの住宅団地にお ける手頃な家賃の賃貸住宅の整備支援に充 てられる。このプロジェクトは、IFCのグリー ンビルディング基準に合致するよう設計・建 設される予定である。	17.96	N/A	N/A	N/A	1,829	11 気候変動 13 気候変動に 関係した資源
グリーン ビルディング	EE	45472	Visum REIT	コロンビア	IFCの融資は、資産の開発・取得及びゼロカー ボン・ロードマップの策定を含むコロンビア での不動産投資信託(REIT)のプログラムを 支援することに充てられる。ロードマップは、 新築の建物や既存物件のグリーンビルディ ング認証を求める「不動産機関投資家ポート フォリオのためのグリーンパスウェイ・イニシ アティブ」に基づき策定される。	39.06	N/A	3,000,000	N/A	1,000	11 気候変動 13 気候変動に 関係した資源
グリーン ビルディング	EE	45002	Grit REIG	ケニア	IFCの融資は、ナイロビの空閑地付き産業施 設の取得を伴うセール・アンド・リースバック 取引の資金として用いられる。 この取引には物件の改修、増築及び EDGE 認証の取得が含まれる。	22.53	N/A	1,034,000	N/A	345	8 働きがい 11 気候変動 13 気候変動に 関係した資源
グリーン ビルディング	EE	43607	Lidl Romania RSE	ルーマニア	IFCの融資は、2020年～2023年の期間中、 COVID-19のパンデミックに関連した改良 とインフラ及び事業の拡大に対する Lidl Romaniaによる投資の支援に充てられる。 これには、148の新店舗と2つの新しい物流 センターの建設、及び既存の20店舗の近代 化が含まれる。 同社は IFCから資金供与を受けた資産につ いて EDGE Advanced 認証を取得する予定で ある。	96.21	N/A	N/A	N/A	N/A	8 働きがい 11 気候変動 13 気候変動に 関係した資源

グリーンボンド 気候変動対策分野	種類 *EE(エネルギー 効率化)RE(再生 可能エネルギー) その他緩和策	プロジェ クトID	プロジェクト名	国または地域	概要	融資契約額 百万米ドル	年間発電量 MWh	年間エネルギー 節減量 kWh	再生可能エネル ギープラント (建設または改 修)設備容量 MW	年間温室効果 ガス削減量 (推定) CO ₂ 排出量 (t)	持続可能な開発 目標
グリーン ビルディング	EE	43451	Nam Long Bond	ベトナム	IFCの融資は、ベトナム・ロンアン省における総合住宅開発プロジェクトであるウォーターポイント・プロジェクトの第2期に充当される。全戸がグリーンビルディングのEDGE認証を取得予定のこの開発は、現地のインフラを共有することで、エネルギーをより効率的に利用し、環境への負荷を軽減できるよう設計されている。またこのプロジェクトは、職場により近い場所に住宅を建設し、インフラ需要が少なく、かつ気候変動に寄与する温室効果ガスの国民一人当たり排出量の少ない都市計画を強化することにより、土地利用の改善にも貢献する。	43.73	N/A	N/A	N/A	N/A	11 気候変動に 関係した目標 13 気候変動に 関係した目標
グリーン ビルディング	EE	43802	Indospace Debt	インド	IFCの融資は、当初2021年度にコミットしたプロジェクトへの追加の資金供与に用いられ、厳選された、EDGE認証を取得済みの倉庫及び工業団地の建設・開発資金を提供することに充てられる。	9.65	N/A	N/A	N/A	N/A	8 気候変動に 関係した目標 11 気候変動に 関係した目標
グリーン ビルディング	EE	46517	RSE GREI	ルーマニア	今回の融資は2018年度の投融資に続くものであり、同グループに流動性に対する重要なアクセスを提供する。この資金は、オフィスビルを維持管理し、COVID-19のパンデミック後の再開に備え、ルーマニア国内事業に対するCOVID-19の影響を軽減することに用いられる。このプロジェクトでは、ルーマニア国内の環境に配慮した高品質の商業物件に対するアクセスを維持し、同グループが開発中の物流物件のための財・サービスの仕入れを支え、同グループが引き続き時代を先取りし、オフィス・セクターの需要が拡大した時点で開発を再開できるよう支援する。	89.8	N/A	N/A	N/A	N/A	8 気候変動に 関係した目標 11 気候変動に 関係した目標
気候変動への 適応策	適応策	39279	Penyao	中国	IFCの融資は、サービスの空白を埋め、水の利用効率を改善するために、上下水道処理の拡大を支援することに用いられる。	0.42	N/A	N/A	N/A	N/A	14 気候変動に 関係した目標

IFCソーシャルボンド適格プロジェクトの 地域別コミットメント

(百万米ドル)

2022年6月30日現在、IFCソーシャルボンドの調達資金を充当した適格プロジェクトは243件です。これらのプロジェクトへのコミットメント総額は76億ドルです。

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
コミットメント	620	717	823	2,156	1,501	1,827	7,644
融資実行額	364	614	844	966	1,868	1,275	5,931

ラテンアメリカ・カリブ海

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	42	108	205	319	395	674
融資実行額	8	86	237	227	285	370

欧州・中央アジア

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	109	177	20	166	232	239
融資実行額	107	154	41	76	224	68

中東・北アフリカ

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	12	106	7	116	27	13
融資実行額	7	5	108	21	107	25

南アジア

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメントs	165	151	320	317	345	405
融資実行額	100	122	383	146	227	307

東アジア・大洋州

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	137	71	141	586	321	403
融資実行額	33	168	53	279	511	327

サブサハラ・アフリカ

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	155	104	130	532	181	92
融資実行額	109	79	22	97	502	178

他地域

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	-	-	120	-	-
融資実行額	-	-	-	120	-	-

IFCソーシャルボンド適格プロジェクトの セクター別*コミットメント

(百万米ドル)



アグリビジネス

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	119	56	75	273	86	58
融資実行額	104	41	31	168	129	72



情報通信技術

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	137	15	-	3	-
融資実行額	-	31	105	9	-	1



インフラ

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	20	-	-	28	10	104
融資実行額	13	-	-	20	28	104



教育

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	5	-	106	40	-
融資実行額	-	1	1	-	57	-



ジェンダー・ファイナンス

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	241	253	407	130	347
融資実行額	40	189	215	326	258	130



その他金融

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	3	4	-	-	-	26
融資実行額	-	1	1	1	-	-



食糧と飲料

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	29	37	18	56	31	10
融資実行額	3	15	29	20	65	4



住宅金融

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	20	-	248	275	140
融資実行額	-	20	-	248	-	286



新型コロナ対策向けファイナンス

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	-	-	763	434	254
融資実行額	-	-	-	50	879	342



保健

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	-	68	37	9	159	627
融資実行額	-	-	85	-	156	250



マイクロファイナンス

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
コミットメント	449	150	424	179	333	262
融資実行額	205	316	405	125	362	86

*プロジェクトは最も該当するセクターに分類されており、重複または二重計上はありません。



Akter Anar Begum, factory owner, Bangladesh Photo: IFC

2022年度にコミットした ソーシャルボンド適格プロジェクト

以下のインパクト・アセスメント表は、2022年度のIFCソーシャルボンドの資金供与対象となるプロジェクトによって期待される成果を示すものです。テーマ別及びセクター別に整理されたこれらの適格プロジェクトは、サービスを十分に受けられていないターゲット層のために、融資その他基本的サービスへのアクセスを改善することを目的としています。適格プロジェクトのカテゴリーには、ソーシャルボンド原則に記載されたものが含まれます。2022年度には、以下のSDGsに対応するプロジェクトにコミットしました。



インクルーシブ・プロジェクト及びジェンダー・ファイナンス・プロジェクト

インクルーシブ・プロジェクトは、低所得層および／または十分なサービスを受けていない人々のために、財、サービス、生計手段及び市場へのアクセスを拡大することに重点を置いています。ジェンダー・ファイナンス・プロジェクトは、女性が経営する企業の融資へのアクセスにおけるジェンダーギャップに対処するものです。

グローバル・ヘルス・プラットフォーム・プロジェクト

IFCのグローバル・ヘルス・プラットフォームを構成するプロジェクトは、途上国の保健医療分野のメーカー、サプライヤー、及びサービス・プロバイダーに金融ソリューションを提供することで、手頃な価格の保健医療製品やサービスの供給を増やすための設備拡張資金や運転資金を賄えるよう支援します。これはIFCによるパンデミック対応の第2段階における重要な要素です。

COVIDプロジェクト

COVIDプロジェクトは、IFCのCOVID-19対策向け資金支援ファシリティ（COVID-19 Response Financing Facility）の一環です。これには、例えば新興市場の銀行に資金を提供し、信用の供与を通じて、企業が経費や従業員の給与を支払うための運転資金を補充できるよう支援することや、金融サービス・プロバイダーによる小規模企業、非公式企業、及び低所得世帯への資金供与を支援し、経済成長や雇用の創出、及びCOVID-19のパンデミックからの強靱な回復を支えるベース・オブ・ピラミッド・ファシリティが含まれます。

インパクトのハイライト

指標	基準値	目標
支援した患者の数（百万人）	302.9	503.2
COVID-19の治療に使用する医療用品 （例：プラスチック・チューブ、外科用マスク、N95マスク） の途上国への販売総数（百万個）	134.0	147.4
登録された口座の数（百万件）	1.4	30
支援した販売会社の数（件）	20,000	30,000
支援した農家の数（軒）	139,588	175,000
住宅ローンの融資件数（件）	570	10,000
マイクロファイナンスの融資件数（件）	1,891,651	3,183,701
中小企業向けの融資件数（件）	26,873	39,730
女性が経営する中小企業向けの融資件数（件）	101,810	148,206
女性が経営する企業向けのマイクロファイナンス 融資件数（件）	355,051	518,214

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
インクルージョン: アグリビジネス	44358	Pandurata Alimentos Ltda.	ブラジル	Pandurata Alimentos Ltd (Bauducco) は、あらゆる消費者をターゲットとするブラジルのベーカリー企業である。このプロジェクトでは、同社の事業拡張と、質の高い食品へのアクセス拡大を支援する。	20	2 貧困をなくす 8 働きがいも 健康な成長も
インクルージョン: アグリビジネス	44420	Netafim Irrigation India Private Limited	インド	Netafim はマイクロ灌漑システムの世界的大手。このプロジェクトは、COVID-19 危機に起因する Netafim India のニーズを支え、現地の生産能力を維持することを目的としている。このプロジェクトは、小規模農家の効率的な灌漑技術に対するアクセスを維持することにより、現地農家の収穫高を増やし、気候ショックに対するレジリエンスを高めることに貢献する。	20.45	2 貧困をなくす 13 気候変動に 具するな持続可能な
インクルージョン: アグリビジネス	45030	Compagnie Ivoirienne Pour Le Developpement Des Textiles SA	コートジボワール	Compagnie Ivoirienne pour le Développement des Textiles (CIDT) はコートジボワールの綿織り企業であり、30,000軒以上の小規模農家から実綿を仕入れている。このプロジェクトでは、生産と綿花農家からの仕入れを拡大するとともに、市場や助言サービスへのより信頼できるアクセスを提供することで、農家の生活を改善する。	8.21	2 貧困をなくす 8 働きがいも 健康な成長も
インクルージョン: アグリビジネス	45225	Robust International PTE. Ltd	ナイジェリア	Robust International はサブサハラ・アフリカ全域から仕入れたゴマ、カシュー、ショウガなどの農産物を専門に扱う農産物取引企業である。このプロジェクトでは、同社のナイジェリア国内での事業拡大を支援するとともに、貯蔵所や長期供給契約へのより信頼できるアクセスを提供することにより、農家の生活を改善する。	9	8 働きがいも 健康な成長も 13 気候変動に 具するな持続可能な
インクルージョン: 食糧と飲料	45637	Industrie Des Boissons Du Senegal	セネガル	Industrie des Boissons du Sénégal (IBS) はセネガルに本社のある、炭酸入り・炭酸なしのソフトドリンクの加工会社である。このプロジェクトでは、同社の生産能力を拡大し、現地の流通・保管施設を拡張するほか、小規模店舗やキオスクを支援する。	10.21	8 働きがいも 健康な成長も
インクルージョン: インフラ	46207	Companhia de Eletricidade do Estado da Bahia Coelba	ブラジル	Companhia de Electricidade do Estado da Bahia (Neoenergia Coelba) はブラジル・バイア州で事業を営む配電会社であり、620万以上の顧客にサービスを提供している。このプロジェクトでは、ブラジルの農村地帯で最も人口が多い同州において、エネルギーへのアクセスを拡大することに貢献する。	104.4	7 エネルギーを 安全に 7 気候変動に 具するな持続可能な 13 気候変動に 具するな持続可能な
インクルージョン: 住宅金融	43799	PT Farpoint Realty Indonesia	インドネシア	PT Farpoint Realty Indonesia (FRI) は、ジャカルタとインドネシア全域における住宅用、商業用、ホスピタリティ用及び小売用物件の開発と管理に注力している。このプロジェクトでは、ジャカルタ大都市圏と東ジャワ州の低所得地域における手頃な価格の住戸の開発を支援し、手頃な価格の高品質な住宅の供給を拡大する。	50	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 健康な成長も 10 人や動物の健康を 支えよう 11 気候変動に 具するな持続可能な
インクルージョン: 住宅金融	45936	Kenya Mortgage Refinance Company	ケニア	Kenya Mortgage Refinance Company (KMRC) は、ケニア国内で手頃な価格の住宅を整備し、手頃な金利の住宅金融へのアクセスを拡大するため、大手住宅ローン会社に対して長期資金を提供している。このプロジェクトでは、同国で手頃な金利の住宅金融を提供するための長期資金へのアクセスを拡大する。	0.84	1 貧困をなくす 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 健康な成長も 9 働きがいも 健康な成長も 10 人や動物の健康を 支えよう 11 気候変動に 具するな持続可能な

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
インクルージョン: 住宅金融	46197	Aadhar Housing Finance Limited	インド	Aadhar Housing Finance Limited (Aadhar) は低所得層向け住宅に重点を置くインドの大手住宅金融会社。このプロジェクトでは、低所得層が手頃な価格の住宅に入居できるよう、融資へのアクセスを拡大するとともに、特にインドの手頃な価格の住宅では依然として未発達な、環境に配慮した住宅向けの手頃な金利の住宅金融を支援する。	88.85	
インクルージョン: その他金融	46264	Wave Mobile Money Holdings Inc	西アフリカ地域	Wave Mobile Money S.A. (Senegal) 及び Wave Côte d' Ivoire S.A. は、現金の預入れ、引出し、送金、商品代金及び請求書の支払いサービスを提供するモバイル金融サービス企業である。このプロジェクトでは、顧客に手頃な料金の口座・決済サービスへのアクセスを提供し、単純な料金体系と取引コストの低さを武器に、より頻繁な取引を可能にすることにより、口座保有率が世界最低水準の国々でのファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）の拡大に貢献する。	26	
インクルージョン: マイクロファイナンス	46275 ⁹	Kreditimi Rural I Kosoves LLC	コンゴ	Kreditimi Rural I Kosoves (KRK) は、コンゴで3番目に大きなマイクロファイナンス機関。このプロジェクトでは、アグリビジネスや農家を中心に、零細・小企業による融資へのアクセスを拡大する。	1.7	
インクルージョン: マイクロファイナンス	46651	Manappuram Finance Limited	インド	Manappuram Finance Limited (MFL) は、主にゴールドローン（金のジュエリーを担保とする融資）を提供しているノンバンクの金融会社である。主にインドの農村部または準都市部において、サービスを全くまたは十分に受けられていない低所得層に融資を行っている。このプロジェクトでは、女性を中心に、低所得州の個人による融資へのアクセスを拡大する。	97.47	
インクルージョン: マイクロファイナンス	46715	Cholamandalam Investment and Finance Company Limited	インド	Cholamandalam Investments & Finance Company Limited (CIFCL) はインドのノンバンクの大手資産金融機関の1つである。主に、経済的に脆弱で与信履歴が限定的な運輸セクターの零細・中小企業の顧客に融資を行っている。このプロジェクトでは、インドの低所得州や農村地域を中心に、零細・中小企業向け自動車ファイナンスを支援する。	100	
インクルージョン: マイクロファイナンス	46064 ¹⁰	KEP Trust	コンゴ	KEPはコンゴ最大のマイクロファイナンス機関。このプロジェクトでは、農家を含むアグリビジネスの借り手に重点を置きながら、零細・小規模企業による融資へのアクセスを拡大する。	2.23	
インクルージョン: マイクロファイナンス	46065 ¹¹	Agency For Finance In Kosovo	コンゴ	Agency for Finance in Kosovo (AFK) は、零細・小規模企業に重点を置くマイクロファイナンス機関。このプロジェクトでは、アグリビジネスや小規模農家を中心に、零細・小規模企業による融資へのアクセスを拡大する。	0.56	
インクルージョン: マイクロファイナンス	45323	Solis Investimentos Ltda	ブラジル	Trademasterは大規模な消費財企業と取引を行うブラジルの小売セクターのためのフィンテック決済/精算プラットフォームである。このプロジェクトは、零細・中小規模の小売業者がブラジルの大企業から商品を仕入れる際の借入条件を改善する融資の仕組みを後押しすることで、零細・中小規模の小売業者による融資へのアクセスを拡大することに貢献する。	9.49	

9, 10, 11 このプロジェクトをカバーする親プロジェクトの開示へのリンク

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
インクルージョン: マイクロ ファイナンス	45622	Fundacion Genesis Empresarial	グアテマラ	Genesisはグアテマラ最大のマイクロファイナンス機関である。このプロジェクトでは、女性が経営する企業を含め、同国の零細・小規模企業に対する同社の融資ポートフォリオを拡大する。	20	1 貧困をなくそう 8 働きがいも 8 経済成長も 5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう
インクルージョン: マイクロ ファイナンス	45704 ¹²	Kaebauk Investimentu no Finansas	東ティモール	Kaebauk Investimentu no Finansasは東ティモール最大のマイクロファイナンス機関である。このプロジェクトでは、女性の借り手を優先しながら、マイクロファイナンスの借り手や農家及び農業サプライチェーンの他の参加者による融資へのアクセスを改善する。	0.5	1 貧困をなくそう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう 5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 8 働きがいも 8 経済成長も 10 人や国の不平等 10 をなくそう
インクルージョン: マイクロ ファイナンス	42086	Simplecredit Micro-Lending Company Limited	中国	Simple Creditは中国のオンライン融資免許を持つマイクロファイナンス企業である。このプロジェクトは、主に中国の国境地域における同社の農業向けデジタル融資事業を拡大し、農業サプライチェーンの零細・中小企業による融資へのアクセスを促進するため、同社を支援することを目的としている。	29.87	1 貧困をなくそう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう 5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 8 働きがいも 8 経済成長も 10 人や国の不平等 10 をなくそう
ジェンダー・ ファイナンス	45878	Operadora De Servicios Mega, S.A. DE C.V. S.O.F.O.M. E.R	メキシコ	Operadora de Servicios Megaは、伝統的な金融機関からはほとんど無視されている中小企業に金融サービスを提供するメキシコ企業である。IFCは同社が初めて発行したサステナビリティボンドのアンカー投資家を務め、起債による調達資金は、女性が経営する中小企業や持続可能な活動に従事している中小企業を中心に、中小企業による融資へのアクセスを改善することに用いられる。	2.79	5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 8 働きがいも 8 経済成長も 10 人や国の不平等 10 をなくそう
ジェンダー・ ファイナンス	45287	Ipoteka Bank JSC Mortgage Bank	ウズベキスタン	Ipotekaは、政策改革や国の開発プログラムに携わっているウズベキスタンの国営銀行である。このプロジェクトでは、中小企業による融資へのアクセスを拡大し、女性が経営する中小企業向けの融資ポートフォリオの拡大を支援する。	5	1 貧困をなくそう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう 5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 8 働きがいも 8 経済成長も 10 人や国の不平等 10 をなくそう
ジェンダー・ ファイナンス	46124	Sudameris Bank S.A.E.C.A	パラグアイ	Sudamerisはパラグアイで事業を営む商業銀行である。このプロジェクトは、同国の中小企業による資金調達ギャップの縮小に貢献し、同国のファイナンシャル・インクルージョン(金融包摂)を支援する。また調達資金の30%は、同国経済においてサービスを十分に受けられていない主要なサブセグメントである、女性が経営する中小企業への融資に充てられる見通しである。	12	1 貧困をなくそう 8 働きがいも 8 経済成長も 2 気候を 2 守ろう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう
ジェンダー・ ファイナンス	46156	NMB Bank Plc	タンザニア	NMB Bank Plcはタンザニア最大の銀行である。このプロジェクトでは、サブサハラ・アフリカ初のジェンダー・ボンドに投資することにより、女性が経営する零細・中小企業向けの同行の融資ポートフォリオを支援及び強化する。	10	1 貧困をなくそう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう 5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 8 働きがいも 8 経済成長も 10 人や国の不平等 10 をなくそう
ジェンダー・ ファイナンス	46162	Mibanco - Banco de la Micro Empresa S.A.	ペルー	Mibancoはペルーの大手マイクロファイナンス兼中小企業向け融資機関である。このプロジェクトでは、サービスを十分に受けられていない地域の、女性が経営する公式・非公式の中小企業による融資へのアクセスと、融資の質を改善する。	100	1 貧困をなくそう 8 働きがいも 8 経済成長も 5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 9 産業と技術革新の 9 基盤をつくろう
ジェンダー・ ファイナンス	45855	Banco Pichincha CA	エクアドル	Banco Pichinchaはエクアドル最大の民間銀行である。このプロジェクトは、同行が発行する最初のジェンダー・ボンドとなる予定である。起債による調達資金は、女性が経営する中小企業に融資へのアクセスを提供することに充てられる。	50	5 ジェンダー平等を 5 実現しよう 8 働きがいも 8 経済成長も 10 人や国の不平等 10 をなくそう

12 このプロジェクトをカバーする親プロジェクトの開示へのリンク

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
ジェンダー・ファイナンス	45674	Haier Financial Services Co., Ltd.	中国	Haier Leasingは中国で主にファイナンス・リース事業を営んでいる。IFCは、他の投資家からの動員を促すため、ソーシャルボンドの募集においてアンカー投資家の役割を担う。このプロジェクトでは、農村地域における教育、保健医療、食料安全保障などの基本的サービスの提供、持続可能な農業、女性企業をはじめとする中小企業に対する支援のための融資へのアクセスを拡大する。	5	   
ジェンダー・ファイナンス	45403	Creditaccess Grameen Limited	インド	CreditAccess Grameen Limited (CAGL) はインドのノンバンク金融会社兼マイクロファイナンス機関である。このプロジェクトでは、インドの低所得州と農村地域を中心に、所得創出を目的とする女性の借り手に対する同社の融資ポートフォリオを拡大する。	50	   
ジェンダー・ファイナンス	43845	Turkiye Sinai Kalkinma Bankasi A.S. (TSKB)	トルコ	TSKBはトルコに本社を置く投資開発銀行である。このプロジェクトでは、女性を包摂する企業(規定のジェンダー平等基準を満たす民間の中規模企業)に対する同行の融資を支援する。	100	    
ジェンダー・ファイナンス	44973	Motoractive IFN SA	ルーマニア	Motoractive IFN SA (Garanti BBVA Leasing Romaniaとして営業) は、自動車のリースに重点を置くルーマニア企業である。このプロジェクトでは、同国の中小企業に対する融資プログラムを支援/拡大するため、同社に短期の流動性支援を提供する。調達資金の40%以上を、危機によって打撃を受けた女性及び女性が経営する企業への融資に充てる。	11.89	    
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	42371	Laboratorios Siegfried S.A.	コロンビア・パナマ	Laboratorios Siegfried SA 及び Laboratorios Siegfried SASはそれぞれコロンビアとパナマの製薬会社であり、コロンビアに2ヶ所の製造工場がある。このプロジェクトでは、保健医療用品の生産・納入規模の拡大を支援し、そのことが雇用の創出や、他のセクターとの経済的連携につながる可能性が高いとみられる。これにより、比較的低価格で高度に専門的な医薬品や、一貫して高品質の、より幅広い製品を提供することで、コロンビア、ペルー、エクアドル及び中米の中低所得層に裨益する。	30	  
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	43082	CM Hospitalar S.A. (Viveo)	ブラジル	Viveoはディスポーザブル製品及び医薬品の製造・販売を手がけるブラジル最大手の企業であり、COVID-19のパンデミックが引き起こした課題に対処する上で重要な役割を果たしてきた。このプロジェクトでは、医療用品の納入を改善し、サプライチェーンの質を高め、国境地域を含む全国の保健医療施設によるサービス提供を強化する。	35.7	   
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	45666	Banco Santander Brasil SA	ブラジル	Santander Brasilはブラジル国内で唯一の大規模な国際銀行であり、同国第3の民間銀行である。このプロジェクトでは、保健医療サービス、零細・中小企業、医師及び医療従事者に対する同行の消費者金融を支援し、COVIDと闘うためのサービス需要の高まりに応え、保健システムのレジリエンスを一段と高めるために必要な医療機器 (MedTech) を購入できるように支援する。	150	    

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	44252	AYC Finance Limited	フィリピン	Ayala Corporationは、すべてのフィリピン人のために、アクセスしやすく手頃な価格の高品質な保健医療に対する満たされていないニーズに対応することを目的として、薬局、診療所、病院や健康技術など保健医療分野への投資を行っている。IFCは、同社の子会社であるAYC Finance Limitedが発行したソーシャルボンドの唯一の引受人であり、調達資金は一次医療機関及び複数の専門科から成る診療所の拡張と、新しいがん病院の設立・整備に用いられる。	100	   
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	44402	Infinity Advanced Technology Solutions PLC	エチオピア	Infinityはエチオピアの大手医療機器販売会社兼サービス・プロバイダーである。このプロジェクトでは、必要な在庫水準を維持して病院の医療機器が停止する期間を最小限に抑えるために必要な「忍耐強い資本」を提供するとともに、官民の病院における効率的な利用を推進し、信用状態が良く、患者数が安定している顧客に対し、引き続き後払い決済の選択肢を提供する。	3	  
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	45116	Brightgene Bio-Medical Technology Co., Ltd.	インドネシア	Brightgeneは、参入障壁の高いジェネリック医薬品、医薬品有効成分(API)及び最終製剤(FDF)の研究と製造に焦点を当てている中国の大手製薬会社である。このプロジェクトでは、同社のインドネシアへの進出を支援するとともに、現地での高品質な医薬品の生産拡大を通じて患者に裨益する。	50	  
グローバル・ヘルス・プラットフォーム	45374	Hikal Limited	インド	Hikalは活性中間体及び医薬品有効成分の大手メーカーであり、世界の製薬、農業、動物用医薬品、及び特殊化学企業に製品を提供している。同社は製品の種類と生産能力を拡大するため、すべての施設において複数年にわたる設備投資計画を実施している。同社はイノベーションに取り組み、市場で販売する製品の幅を拡大しつつあることから、このプロジェクトは製薬及び農業セクターにおける競争力の向上に貢献すると期待される。	47.98	   
グローバル・ヘルス・プラットフォーム/インクルージョン	45541	Di'an Diagnostics Group Co., Ltd.	中国	Di'anは、20,000以上の医療機関と3億人にサービスを提供している独立系の臨床検査ネットワーク・サービス・プロバイダーである。このプロジェクトでは、中国国内における、質の高い手頃な価格の診断サービスの提供を拡大するとともに、中国の三次病院の処理能力超過問題を軽減し、二次・一次病院における検査サービスを強化することを目標とする。	150	  
グローバル・ヘルス・プラットフォーム/インクルージョン	43815	Genomma Lab Internacional, S.A.B. de C.V.	メキシコ	Genomma Labは、民間市場向けの市販薬(非処方薬)及びパーソナルケア製品の開発・製造・流通・販売に注力している地域の大手製薬会社である。このプロジェクトでは、同社の事業拡大と、高品質で手頃な価格の医薬品に対するアクセスの拡大を支援する。	60	   

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
COVID対策	43584	Omni S.A Credito Financiamiento e Inwestimento	ブラジル	Omniは低所得層に特に焦点を当てているブラジルの金融機関である。このプロジェクトでは、運輸セグメントまたは国境地域の零細企業、及びブラジル国内の低所得の移民や難民を中心とする同社のマイクロファイナンス・ポートフォリオを支援する。	20	  
COVID対策	43911	CJSC Microcredit Deposit Taking Organization IMON International	タジキスタン	Closed Joint Stock Company Microcredit Deposit-Taking Organization (CJSC)、別名 IMON International は、タジキスタン最大のマイクロファイナンス機関である。このプロジェクトでは、零細・小規模企業のパンデミックによる経済的打撃からの回復を支援するため、大いに必要とされている現地通貨建て資金を提供できるよう、IMONを支援する。	5	    
COVID対策	44138	Esquire Financing Inc	フィリピン	Esquire Financing Inc. はフィリピン第4のノンバンク金融機関であり、中小企業向け無担保融資分野では市場最大手である。このプロジェクトは、COVID-19のパンデミックの期間と収束後の同社の融資ポートフォリオの拡大を支援し、女性が経営する中小企業を含む中小企業による融資へのアクセスを改善することが期待される。	8.58	   
COVID対策	44278	Banco del Pais S.A.	ホンジュラス	Banco del Pais, S.A. はホンジュラスで全国的に展開している商業銀行である。このプロジェクトでは、同国の中小企業や女性が経営する中小企業に対する同行の運転資金融資プログラムを支援する。	60	  
COVID対策	44847	Acleda Bank Lao Ltd.	ラオス人民 民主共和国	ABLは零細・中小企業に焦点を当てたラオスで唯一の銀行である。このプロジェクトでは、COVID-19のパンデミックによって悪影響を受けた中小企業に対し、現地通貨建ての資金を提供する。	10	    
COVID対策	45442	Ipak Yuli Bank JSIB	ウズベキス タン	IYBはウズベキスタンの中規模の民間銀行である。このプロジェクトでは、零細・中小企業及び女性が経営する中小企業に融資へのアクセスを提供することにより、経済活動や COVID-19危機後のレジリエンスの構築を支援する。またこのプロジェクトでは、マイクロファイナンス機関や経済ピラミッドの下層部 (BOP 層) 向け融資機関のレジリエンス構築を支援する。支援にあたり、BOP 向け融資機関への融資が実行可能であることを示すとともに、これらの融資機関を支持する国内外の他の資金源を呼び込み、同セクターにおける投融資を促進する。	10	    
COVID対策	45509	The Jordan Micro Finance Company	ヨルダン	Tamweelcom はヨルダン第2のマイクロファイナンス機関。このプロジェクトでは、零細・中小企業による融資へのアクセスと融資の質を改善する。零細・中小企業の多くは非公式の女性零細起業家または女性が経営する零細・中小企業であり、ロックダウンや、不透明感の高まり、及びパンデミック以降の経済活動の減速によって深刻な打撃を受けている。	5	    

セクター	プロジェクトID	組織名	国または地域	概要	適格融資コミットメント (百万米ドル)	持続可能な開発目標
COVID対策	45575	Al Amana Microfinance	モロッコ	Al Amana Microfinance は、モロッコの大手マイクロファイナンス機関の1つである。このプロジェクトでは、COVID-19危機によって深刻な打撃を受けた女性零細起業家を含む零細企業による融資へのアクセスと、融資の質を改善する。	8	   
COVID対策	46378	PEO Finance Proprietary Limited	ボツワナ	Peo は、ナミビアに本社を置く投資持株会社 Capricorn Group の子会社であるボツワナの持株会社、Capricorn Investment Holdings の完全子会社である。同グループは子会社を通じて、ボツワナでの銀行業務、保険、資産管理、資産運用、及び融資に力を入れている。このプロジェクトでは、ボツワナに本部を置く新たなノンバンクの非預金取扱金融機関である Peo に対し、サービスを十分に、または全く受けられていない個人に対する融資へのアクセスを促進し、マイクロファイナンス業務の規模を拡大するための資金を提供する。	25	  
COVID対策	46695	Microcredit Company Bailyk Finance LLC	キルギス共和国	Bailyk Finance はキルギス共和国第3のマイクロファイナンス機関。このプロジェクトでは、農村地域を中心とする女性企業や手頃な価格の住宅に重点を置きながら、同社が零細企業やサービスを十分に受けられていない個人のために融資へのアクセスを拡大できるよう支援する。	2.5	    
COVID対策	47014	Banco Daycoval SA	ブラジル	Banco Daycoval SA は、中小企業に個人向け及び法人向けの銀行サービスを提供する、ブラジルに本社を置く商業銀行である。このプロジェクトでは、中小企業及び女性が経営する中小企業による融資へのアクセスを拡大する。また同プロジェクトは、今も続く COVID-19 危機の深刻な影響や、マクロ経済の脆弱性によるショックに対する金融セクターの持続的な耐久力の向上に資するとみられる。	100	    

付属資料A

IFCグリーンボンド・プログラムのプロセス

IFCグリーンボンド・プログラムは、市場のベスト・プラクティスに従い、グリーンボンド原則を遵守しています。



Water catchment station, Brazil Photo: 2022 Marcelo Scandaroli/Illuminati Filmes/IFC

1

調達資金の用途*

グリーンボンドの融資対象となるプロジェクトは IFC の気候関連の融資ポートフォリオの中から選定されます(エクイティ投資と保証はグリーンボンドの資金供与対象外です)。

IFC の気候関連投資ポートフォリオは、IFC の「気候関連活動のための定義と基準」に適合したプロジェクトで構成されています。すべてのプロジェクトは、環境・社会問題に関する [IFC のパフォーマンス基準](#) 及び [IFC のコーポレートガバナンスの枠組み](#) を遵守しています。

IFC はプロジェクト選定要件についてオスロ国際気候環境研究センター ([CICERO](#)) のレビューを受けており、グリーンボンドを通じた投融資の適格プロジェクトの評価と選定に関する IFC の枠組みとガイダンスについての [セカンドオピニオン](#) を得ています。

また IFC は、気候関連プロジェクトの適格性に関する共通基準を使用した、[多国間開発銀行による気候変動対策向けファイナンスに関する共同報告](#) に参加しています。

*IFC は 2023 年 1 月にグリーンボンドの枠組みを拡大し、グリーンボンドによる調達資金をブルーエコノミー及び生物多様性に関するプロジェクトにも割り当てられるようにしています。

IFCグリーンボンドによる資金供与を受けるプロジェクトには、以下の投融資が含まれる場合があります：

A 再生可能エネルギー（グリーンフィールド及びブラウンフィールド）

- i. 再生可能エネルギーによる発電
- ii. 再生可能エネルギーを利用した熱生成またはその他の用途
- iii. 再生可能エネルギーの送電網への組み込みを促進する措置

B 低炭素の効率的なエネルギー生成

- i. 送配電システム
- ii. 発電所
- iii. 地域冷暖房システムの修復

C エネルギー効率化

- i. 既存の工業用、商業用、公共用、及び居住用建物のエネルギー効率の改善
- ii. 自動車の改良を通じたエネルギー効率化
- iii. 新築の商業用、公共用、及び居住用建物のエネルギーの効率化

D 農業、林業及び土地利用

- i. 気候変動に対応する農業に貢献する活動
- ii. 植林、森林再生、生物圏の保全
- iii. バイオ燃料

E 非エネルギー起源の温室効果ガスの削減

- i. 一時的放出
- ii. 二酸化炭素の回収・貯留
- iii. 空調・冷却

F 廃棄物と廃水

- i. 下水処理
- ii. 廃棄物管理プロジェクトによる排出メタンの回収・燃焼
- iii. 廃棄物の回収・リサイクル・管理プロジェクトによる素材及び廃棄物の回収または新しい製品の材料または資源としての再利用

G 輸送

- i. 都市交通様式の変化
- ii. 輸送に重点を置いた都市開発
- iii. 都市間輸送

H 気候関連製品

- i. 使用時に、第三者による再生可能エネルギーの生産拡大につながる完成品の製造・販売
- ii. 使用時に、第三者の事業のエネルギー効率向上につながる完成品の製造・販売
- iii. 使用時に、第三者による温室効果ガスの削減または破壊を可能にする完成品の製造・販売

金融仲介機関を通じた緩和策

- i. 金融仲介機関を通じた、直接的緩和策（Direct Mitigation）に記載された活動に対する融資
- ii. グリーンボンド原則を遵守し、調達資金を気候関連の活動に使用する第三者のグリーンボンドに対するIFCの投融資
- iii. 第三者のプライベート・エクイティ及びベンチャー・キャピタル・ファンドに対するIFCの投融資

気候変動への適応策

- i. 気候変動に対するリスク、エクスポージャーまたは感度の引き下げ
- ii. 気候変動に対するレジリエンスの向上
- iii. 気候変動と直接関係のある影響への対処

2

プロジェクトの評価

IFCの「気候関連活動のための定義と基準」を適用して選定された適格プロジェクトを、入念な評価・選定プロセスによって更に絞り込んだ上で、IFCグリーンボンド・ポートフォリオに組み入れます。

このプロセスには以下が含まれます。

- i. プロジェクトがIFCの持続可能性枠組みの遵守していることを確認する
- ii. プロジェクトが厳格なデューデリジェンスの手続きを通過していることを確認する。これには、開示及び協議要件、及び整合性に関するデューデリジェンスの実施が含まれる
- iii. IFCが第三者のグリーンボンドに投融資する場合は、対象のグリーンボンドがグリーンボンド原則に整合していること、セカンドオピニオンを得ていること、及び発行体が調達資金の用途の公開を約束していることを条件とする

3

調達資金の管理

IFCグリーンボンドによる調達資金は、すべてIFCの財務勘定内の専用のサブポートフォリオに移され、途上国の再生可能エネルギー、エネルギー効率化、その他の気候関連のプロジェクトを含む適格プロジェクトへの融資実行までの間、流動性に関するIFCの方針に則って運用されます。

多くの場合、融資の実行はプロジェクトの融資実行スケジュールに従って一定の時間をかけて行われます。グリーンボンド調達資金の融資が実行された場合、サブポートフォリオの残高が同じ金額だけ調整されます。

4

報告

IFCは年に一度、グリーンボンド調達資金の供与対象となるプロジェクトのリストを発表します。プロジェクトの一覧には、守秘義務上の承認を得た上で、プロジェクトの概略、融資実行額、期待される環境へのインパクト、及びプロジェクトに関する公開資料へのリンクが含まれています。IFCは、グリーンボンド原則のハンドブックである共通枠組みの勧告に基づき、グリーンボンド・インパクト・レポートを毎年発行しています。

指標の見方

IFCは、可能な限り、セクターごとにインパクトを定量化しています。指標を算出できないか、守秘義務の理由により情報を開示できない場合は、定性的なインパクトを記載している場合があります。インパクト指標は、企業が報告するデータに基づいて、顧客レベルで追跡しています。指標はプロジェクト・レベルであり、IFCの拠出額に応じた按分は行っていません。各セクターのコア指標の定量化は、グリーンボンド・プログラムの報告書に基づいて行っていますが、報告されたデータには限界があることをご了承ください。

IFCの情報アクセスに関する方針

情報アクセスに関する方針は、IFCの持続可能性枠組みの基礎であり、透明性の向上に向けたIFCのコミットメントを明確に表したものです。私たちは、投融資、及び顧客、パートナー、ステークホルダーへの助言活動に関する情報を正確かつ適時に提供するように努めています。プロジェクト、環境・社会への影響、そして期待される開発効果に関する情報については、理事会での検討に先行して公開するよう努めています。この方針は、IFCグリーンボンド・プログラムから資金供与を受けるプロジェクトのインパクト・レポート・プロセスにも適用されます。

IFC気候関連ビジネスの詳細については、
www.ifc.org/climatebusiness
をご覧ください。

付属資料B

IFCソーシャルボンドの資金供与の対象となるプロジェクトとは？

ソーシャルボンド・プログラムは、ターゲット層をはじめとする支援対象により良い社会的成果をもたらすことを目的としたプロジェクトを支援します。ソーシャルボンド原則で挙げているソーシャル・プロジェクトのカテゴリーは、以下を提供または推進するものを含みます。

- A 手頃な価格で利用できる基本的インフラ（例：清潔な飲料水、下水道、衛生、交通、エネルギー）
- B 基本的サービス（例：教育・職業訓練、保健医療、融資及び金融サービス）へのアクセス
- C 手頃な価格の住宅
- D 雇用の創出（中小企業への資金提供とマイクロファイナンスの潜在的効果によるものを含む）
- E 食料安全保障
- F 社会的・経済的發展とエンパワーメント

これには、上記の基準を満たし、IFCによる資金提供を受ける以下のようなプロジェクトが含まれます。

IFCの**女性起業家支援**：金融仲介機関に対し、女性が経営する零細・中小企業への転貸を資金用途とする融資を行うプロジェクト。

IFCの**インクルーシブ・ビジネス**：経済ピラミッドの下層部（BOP層）に位置する、サービスを十分に受けられていない人々を自社のバリューチェーンに組み込む企業とのプロジェクト。例として、以下のプロジェクトが挙げられます。

- ・ 保健医療または教育サービスを提供するもの
- ・ 手頃な価格帯の住宅を開発するもの
- ・ ブロードバンドまたは携帯電話など、通信の手段を拡大するもの
- ・ 電力または水道サービスを提供するもの
- ・ 小規模農家から調達を行うもの
- ・ 融資へのアクセスを提供するもの
- ・ 家族経営の小規模小売業者を通じて販売を行うもの

IFCの**COVID対策**：IFCのCOVID-19対策向け資金支援ファシリティの中から選ばれたプロジェクト。このパッケージでは、COVID-19のパンデミックによって事業に明確に支障が出ているIFCの既存顧客に対し、ファストトラックによる資金支援を提供します。顧客のIFCに対する延滞がないこと、及び環境・社会・ガバナンス（ESG）要件を遵守していることなどが支援の条件となります。

IFCの**グローバル・ヘルス・プラットフォーム**：IFCのグローバル・ヘルス・プラットフォームを構成するプロジェクトは、途上国の保健医療分野のメーカー、サプライヤー、及びサービス・プロバイダーに金融ソリューションを提供することで、手頃な価格の保健医療製品やサービスの供給を増やすための設備拡張 資金や運転資金を賄えるよう支援します。これはパンデミック対応の第2段階で重要となる要素です。



Photo: Rama George-Alleyne/World Bank



IFCソーシャルボンド・プログラムのプロセス

IFCソーシャルボンド・プログラムは、市場のベスト・プラクティスに従い、ソーシャルボンド原則を遵守しています。

1

調達資金の用途

IFCソーシャルボンドによる調達資金は、すべてIFCの総合流動性現金勘定（General Liquidity Cash Account）内でソーシャルボンド適格プロジェクトへの融資業務と関連したサポートフォリオに割り当てられています。プロジェクトのうち、ソーシャルボンドによる調達資金から資金供与を受けられるのは融資の部分のみであり、エクイティ投資及び保証は対象外です。適格プロジェクトとは、IFCの女性起業家支援プログラム、インクルーシブ・ビジネス・プログラム、COVID対策プログラムまたはグローバル・ヘルス・プラットフォーム・プログラムの要件を満たし、IFCが部分的または全面的に資金供与するプロジェクトを指します。

2

プロジェクトの評価と選定

資金供与を受けるすべてのプロジェクトは、ソーシャルボンドの適格基準を満たすだけでなく、厳格なデューデリジェンスの手続きを経ています。適格プロジェクトは、IFCの環境と社会の持続可能性に関するパフォーマンス基準及びIFCのコーポレートガバナンス枠組みを遵守しています。プロジェクトは継続的なモニタリング及び監督の対象となります。

3

調達資金の管理

IFCソーシャルボンドによる正味調達資金は、場合により米ドルに換金された後、IFCの財務勘定内で指定されたサポートフォリオに割り当てられ、IFCの流動債券の発

行残高がある限り、IFCの融資ポートフォリオの中から選ばれた「適格プロジェクト」への融資実行額と同額がサポートフォリオの残高から減額されます。適格プロジェクトには、女性が経営する企業を支援するプロジェクト（女性起業家支援適格プロジェクト）、インクルーシブ・ビジネス・プロジェクト（インクルーシブ・ビジネス適格プロジェクト）、COVID対策プロジェクト、グローバル・ヘルス・プラットフォーム・プロジェクト、及び国際資本市場協会（ICMA）が発行したソーシャルボンド原則に規定されている基準を満たすプロジェクト（ソーシャルボンド原則プロジェクト）が含まれる可能性があります。適格プロジェクトは、IFCが部分的または全面的に資金供与する全プロジェクトの中から選ばれます。IFCは、直接的または間接的に融資を行う権利を留保します。ソーシャルボンドが支援するプロジェクトでは、社会課題の解決に関連した要素が、大きな投資プロジェクトの一部である場合があります。こうした場合、ソーシャルボンド・ポートフォリオは、プロジェクトの基準に適合する部分のみに融資します。投資対象会社には、全投資期間を通じたプロジェクト活動とパフォーマンスに関する定期報告が義務付けられ、こうした報告を元に、適格プロジェクトのモニタリングと監督を行っています。ソーシャルボンドの元利金の支払いは厳格にIFCの信用力に基づいており、IFCが上記の適格基準に従って実施する投融資案件に直接の影響を受けるものではありません。

4

報告

IFCソーシャルボンド・インパクト・レポートは、ベスト・プラクティス及び「ソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み」内のソーシャルボンド原則の報告指針に従って作成されています。これは、透明性を高めることでソーシャルボンド市場の整合性を確保することを目的とする指針です。本レポートには、ソーシャルボンド調達資金から資金供与を受ける資格のあるプロジェクトの一覧、またそれぞれの守秘義務を考慮した上で各プロジェクトの概略、適格融資額、期待される社会へのインパクトを掲載しています。本レポートには、ソーシャルボンドの融資対象となるプロジェクトのみを記載しています。

インパクト指標の選定

IFCと他の多国間・二国間開発機関は、過去10年の間、投融資プロジェクトに関する共通の開発指標の作成に取り組んできました。その結果、**民間セクター事業の統一指標**（HIPSO）が策定され、26の国際金融機関がこれを導入しています。この指標のリストは、主としてセクター・レベルの成果指標で構成されています。ソーシャルボンド・プログラムによるインパクトを報告する上で、IFCはHIPSOパートナーシップが合意したセクター特有の多くの指標¹³を使用し、必要に応じて他の指標を採用しています。この指標には、以下が含まれます。

実体セクター

- 支援を受ける農家の軒数
- 携帯電話契約者数
(被支援者数)
- 保健医療サービスを受ける患者数
- 支援を受ける学生数

金融セクター

- 女性が経営する中小企業への融資
件数¹⁴
- マイクロファイナンス融資件数
- 住宅ローン融資件数



Photo: World Bank



Pharmacy in Ecuador Photo: 2022 Isadora Romero/IFC

¹³ HIPSO指標の完全なリストは <https://indicators.ifpartnership.org/indicators/> からご覧いただけます。

¹⁴ 女性が経営する中小企業への融資件数はHIPSO指標ではありません。

ターゲット層の特定

IFCソーシャルボンド・プログラムは、融資にアクセスできない女性が経営する小規模企業、質の高い保健医療にアクセスできない低所得世帯、農産物の市場へのアクセスがない小規模農家といった、健全な生活の重要な要素である生活必需品やサービスへのアクセスがなく、サービスを十分に受けられていない人々を対象としています。IFCは、金融仲介機関への投融資を行うことにより、IFCが直接支援することのできない、零細・中小企業などの顧客に金融サービスを届けています。

ガイダンス資料であるソーシャルボンド・インパクト・レポートの共通枠組み策定に向けた取り組み¹⁵に記載されたソーシャルボンド原則の推奨に従い、本レポートの適格プロジェクト・セクションには、セクターごとのターゲット層を記載しています。

指標の見方

IFCは、可能な限り、セクターごとにインパクトを定量化しています。指標を算出できないか、守秘義務の理由により情報を開示できない場合は、定性的なインパクトを記載している場合があります。インパクト指標は、企業が報告するデータに基づいて、顧客レベルで追跡しています。指標はプロジェクト・レベルであり、IFCの拠出額に応じた按分は行っていません。各セクターのコア指標の定量化は、ソーシャルボンド・プログラムの報告書に基づいて行っていますが、報告されたデータには限界があることをご了承ください。

結果を解釈する上での主な留意点は以下の通りです。

- **効果の範囲:** 報告は、プロジェクト承認時における事前評価に基づき、主にプロジェクトの直接的な効果に関するものです。
- **不確実性:** インパクト指標の予測における重要な留意点は、往々にして、多くの仮定に基づいているという点です。プロジェクトの実際のインパクトは、当初の見通しとは大きく異なる可能性があります。
- **比較可能性:** プロジェクトやセクター、またはポートフォリオを比較する際には、基準値(及び基準年)に違いがある可能性があるため、注意が必要です。また、セクターや国ごとの背景も考慮する必要があります。
- **遺漏:** プロジェクトは、報告書に記載されているよりも幅広い指標に影響を及ぼしているか、他にも重要な開発効果を及ぼしている可能性があります。さらに、プロジェクトによってはコア指標が適用できないか、データがない場合もあります。

IFCの情報アクセスに関する方針

情報アクセスに関する方針は、IFCの持続可能性枠組みの基礎であり、透明性の向上に向けたIFCのコミットメントを明確に表したものです。私たちは、投融資、及び顧客、パートナー、ステークホルダーへの助言活動に関する情報を正確かつ適時に提供するように努めています。プロジェクト、環境・社会への影響、そして期待される開発効果に関する情報については、理事会での検討に先行して公開しています。この方針は、ソーシャルボンド・プログラムから資金供与を受けるプロジェクトに適用されます。

IFCソーシャルボンド・プログラムの詳細については、
www.ifc.org/socialbonds
をご覧ください。

¹⁵ <https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/impact-reporting/> をご覧ください。



付属資料D

過年度のソーシャルボンドによるコミットメント 及び融資実行額の調整

2016年度に旧女性起業家支援プログラムの適格プロジェクトに分類し、コミットしたプロジェクト1件について、2022年度にソーシャルボンドの資金供与の対象外と判断しました。このプロジェクトはシニア A ローンから準エクイティ・ローンに変更したため、ソーシャルボンドの資金供与の対象外となりました。



Santa Catarina, Brazil Photo: Yes Brasil/iStock

作成者

本レポートは、IFCの資金調達及びインベスター・リレーションズ・チームによって作成されました。

作成者：ベラ・セブロク、オーベルト・リンバーニ、マーシャ・スネー・モンテロ、ラファエル・オリヴェイラ・アンドレード

寄稿者：気候関連ビジネス局のベリット・リンドホルト-ラウリッセン、フランシスコ・アヴェンダノ、マリア・アントニア・パラーン、ホンツェ・グォ、パトリシア・ヌエスベニテス

インクルーシブ・ビジネス・チーム：キャスリーン・ミニャノ、カリマ・ハイセンシャン

データの提供または編集にご協力いただいたフローラ・チャオ、アラン・リュコマ、アースラ・Q・ノマーニ、ビン・ビン・ユリアワティ、ラウラ・スターリング及びイリーナ・グゼロフに感謝申し上げます。

免責事項

本資料は情報提供のみを目的として作成されており、本資料に記載された情報は要約されているか、不完全な場合があります。IFCは特に、本資料の正確性や完全性に関して、いかなる保証及び表明も行うものではありません。IFCはこれらの情報を更新する義務を一切負いません。本資料は目論見書ではなく、IFCが発行するいかなる債券についての評価基準を提供するものでもありません。また、本資料で言及されているいかなる商品またはサービスについても予約または購入を勧誘または提供するものではありません。いかなる状況においても、IFCまたはその関係機関は、本資料の情報の使用に起因するいかなる損失、損害、負債、費用に対しても責任を負いません。これには直接的損害、間接的損害、特別損害、派生的損害を含み、それらに限らず、たとえそのような損害の可能性についてIFCが報告を受けていた場合を含め、いかなる状況においても、IFC及びIFCの関係機関は責任を負いません。IFCに関するより詳しい情報は、以下のIFCのウェブサイトより、最新版「インフォメーション・ステートメント」、財務諸表、その他関連情報を参照してください。

www.ifc.org/investors

アイコンはFreepikにより作成されました

IFC Investor Relations
International Finance Corporation
2121 Pennsylvania Avenue NW
Washington, D.C. 20433

Email: investors@ifc.org
Twitter: @IFC_Investors

ifc.org/investors

2023年1月

